

1. 会社概要

2. 2021年6月期 連結決算概要

3. 2021年6月期 セグメント別決算概要

4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画

5. 【参考資料】外部環境

■ 会社名	株式会社ハウストゥ
■ 代表	代表取締役社長 CEO 安藤 正弘
■ 設立	2009年1月 (創業 1991年)
■ 資本金	33億7,433万円
■ 証券コード	3457
■ 上場取引所	東京証券取引所市場第一部
■ 売上	390.3億円 (2021年6月期 グループ連結)
■ 従業員数	836名 (2021年6月現在 グループ合計)
■ 本社	東京都千代田区丸の内1丁目8-1 丸の内トラストタワーN館17F
■ 本店	京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町670番地
■ 事業内容	フランチャイズ事業、ハウス・リースバック事業、金融事業、不動産売買事業、不動産流通事業、リフォーム事業

【企業理念】

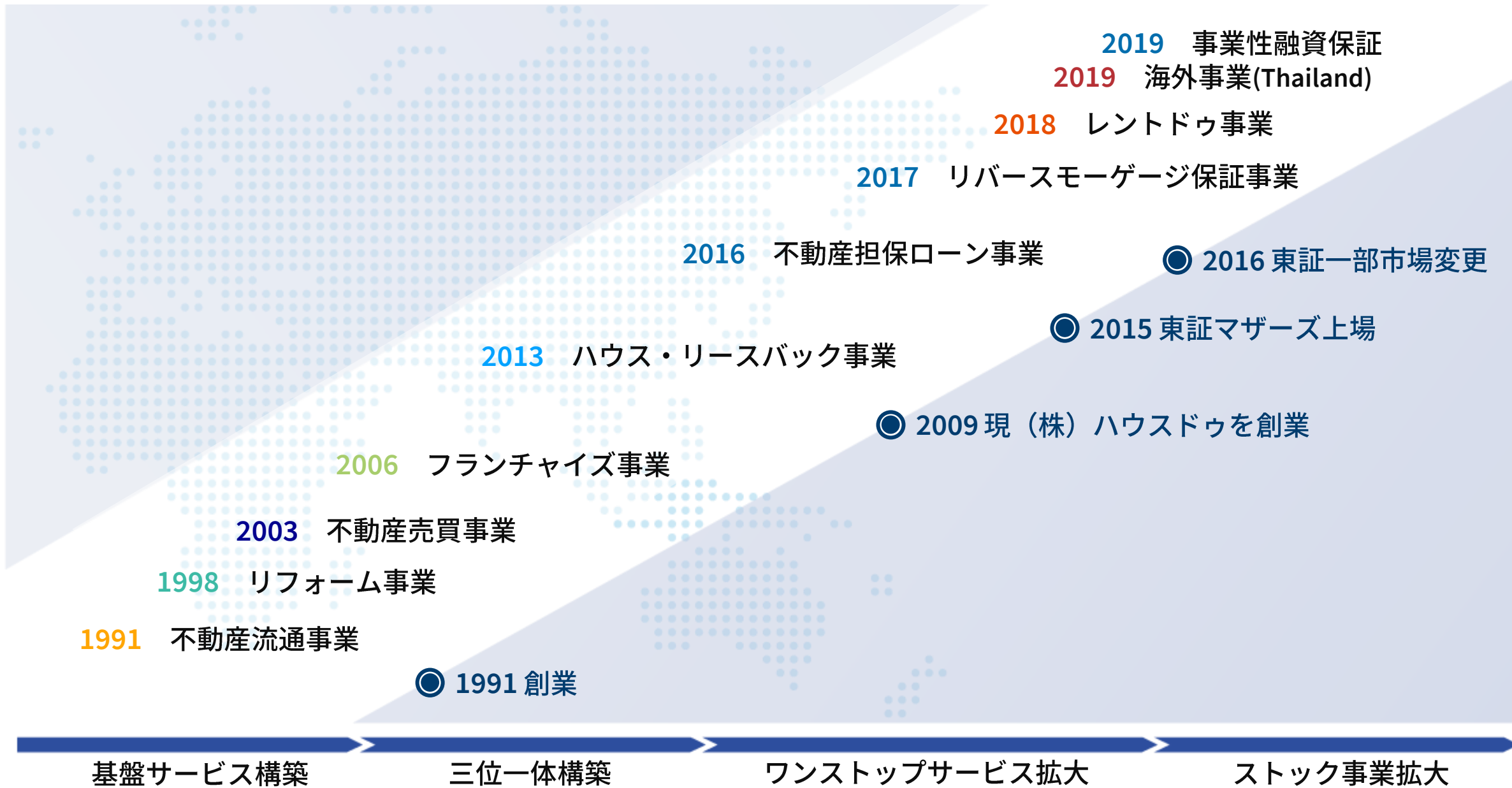
お客様の豊かさ、社員の豊かさ、社会の豊かさを常に創造し、
末永い繁栄と更なる幸福を追求します。

【経営理念】

お客様から必要とされ、お客様へ尽くします。

【ブランド理念】

私たちは日本の住宅市場をオープンにし、
お客様のライフステージに即した理想の住宅を積極的に
住み替えたりできる「住まいの新しい流通システム」を築きます。



地域密着の



販売力



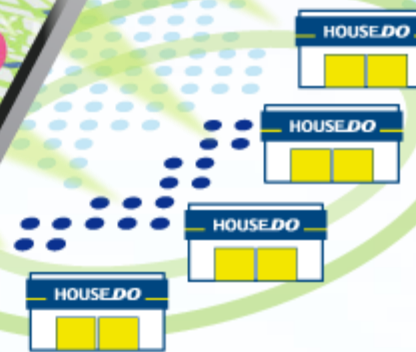
査定力



信用力



全国対応



『顧客接点』 ・ 『地域密着』 のネットワークを構築

全てのエリアにハウスドゥ
お客様のより近くに、安心・便利な窓口を創り出す。



不動産情報公開

国内1,000店舗の
FCチェーンネットワーク
(2025年)



不動産ソリューション

(高齢化社会に対応)

ハウス・リースバック
不動産担保ローン
リバースモーゲージ
リフォーム



売買仲介を起点に
住まいの関連サービスへつなげる

不動産流通事業

住まいのワンストップサービス

事業シナジーを強化



リフォーム事業

フランチャイズ事業
(アジアのFCチェーンネットワーク)



不動産売買事業



ハウス・リースバック



賃貸管理・仲介
(レントドゥ)



金融事業
・不動産担保ローン
・リバースモーゲージ保証
・事業性融資保証



海外事業

1. 会社概要
- 2. 2021年6月期 連結決算概要**
3. 2021年6月期 セグメント別決算概要
4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画
5. 【参考資料】外部環境

2021年6月期 通期実績

売上高は過去最高を更新。

経常利益は前期比+46.4%、当初計画のレンジ内で着地。

売上

390.3 億円

(前年同期比 + 18.7%)

営業利益

25.8 億円

(前年同期比 + 36.7%)

経常利益

25.1 億円

(前年同期比 + 46.4%)

フランチャイズ

累計加盟契約
702店舗

累計開店店舗
616店舗

ハウス・リースバック

保有件数/総額
339件 / 45.9億円

仕入契約件数 903件
(前期比 + 36.8%)

金融

リバースモーゲージ保証残高
53.4億円

不動産担保融資残高
97.4億円

トピックス

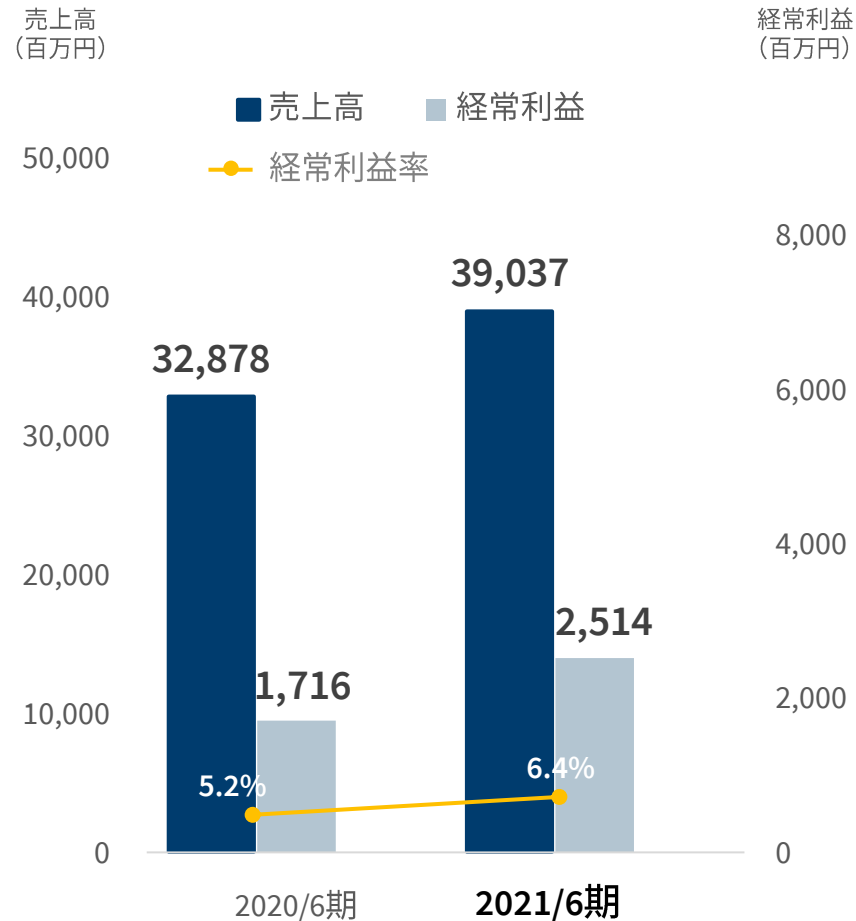
- フランチャイズ累計加盟契約数**700店舗突破**
- 持続的な成長と企業価値向上に向け、**持株会社体制へ移行検討開始**

配当

- 持続的な業容拡大と収益性向上による企業価値の向上
- 期末配当金 **1株当たり30円** (配当性向36.2%)

2021年6月期 連結損益計算書概要

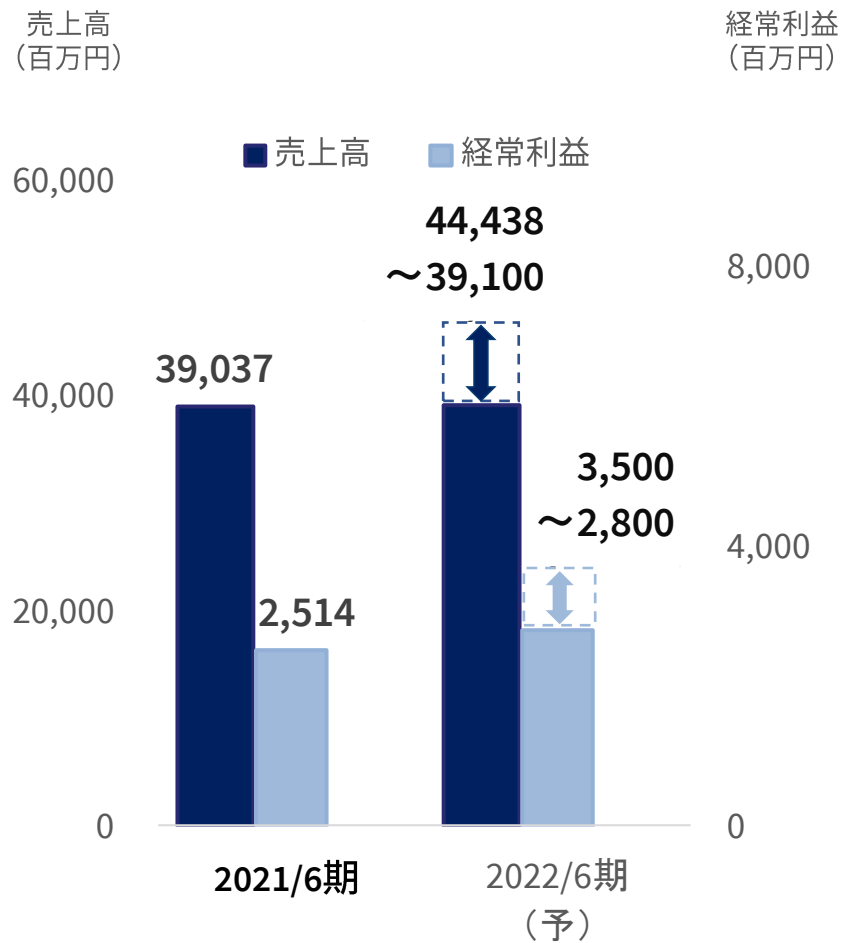
単位 (百万円)



(前期比較)	2020/6期		2021/6期		対前年 増減率
	売上 対比		売上 対比		
売上高	32,878	100.0%	39,037	100.0%	+ 18.7%
売上総利益	11,646	35.4%	12,914	33.1%	+ 10.9%
販売費及び 一般管理費	9,752	29.7%	10,324	26.4%	+ 5.9%
営業利益	1,893	5.8%	2,589	6.6%	+ 36.7%
営業外収益	195	0.6%	293	0.8%	+ 50.2%
営業外費用	371	1.1%	368	0.9%	▲ 0.9%
経常利益	1,716	5.2%	2,514	6.4%	+ 46.4%
純利益	1,030	3.1%	1,616	4.1%	+ 56.9%

■ 売上総利益：前期比 +10.9% 販管費：前期比 +5.9%
■ コロナ禍においても収益面が順調に伸長、売上高は過去最高を更新

2021年6月期 当期計画対比及び2022年6月期計画

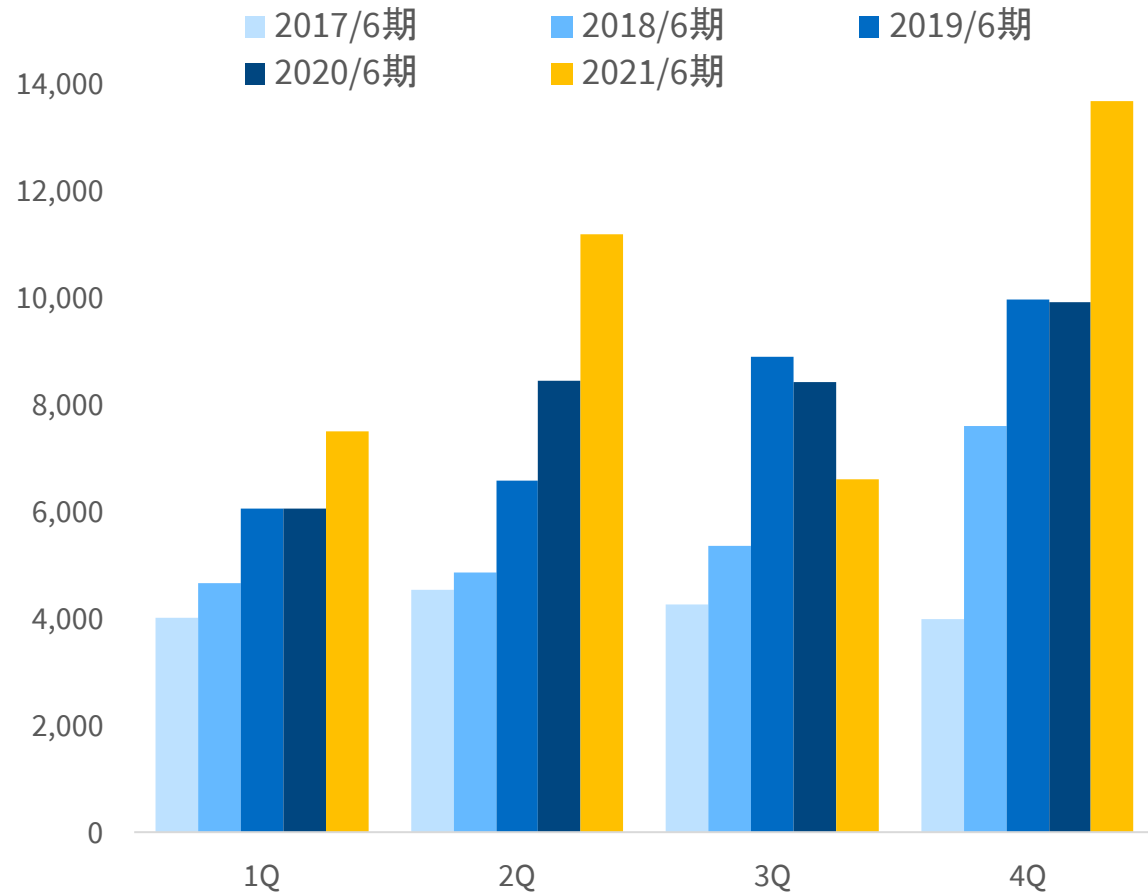


	2021/6期実績	2021/6期 当初計画	当初計画比 (下限~上限)	2022/6期 (予)
売上高	39,037	37,532 ~33,976	114.9% ~104.0%	44,438 ~39,100
営業利益	2,589	3,512 ~2,713	95.4% ~73.7%	3,673 ~2,973
経常利益	2,514	3,300 ~2,500	100.5% ~76.2%	3,500 ~2,800
純利益	1,616	2,178 ~1,650	98.0% ~74.2%	2,310 ~1,848
1株当たり純利益 (円)	82.87	111.75 ~84.68	—	118.13 ~94.50

- 売上高390.3億円 経常利益 25.1億円 不動産売買事業の好調により、売上高は当初予想上限を上回る着地
- 2022年6月期は、足元の状況に鑑みて引き続きレンジ形式による業績予想
売上高444.3億円~391.0億円（前期比+13.8%~+0.2%） 経常利益35.0億円~28.0億円（前期比+ 39.2%~+11.4%）

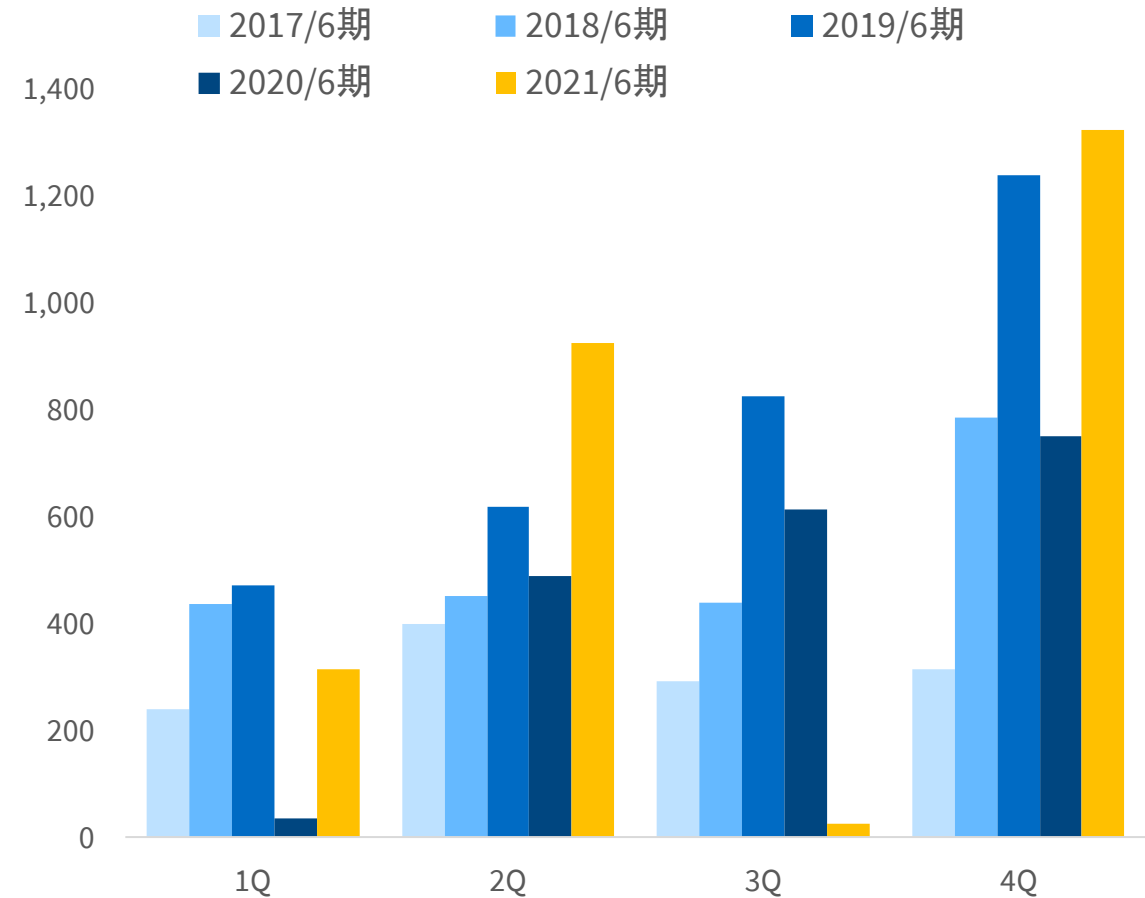
四半期売上高推移

(百万円)



四半期営業利益推移

(百万円)



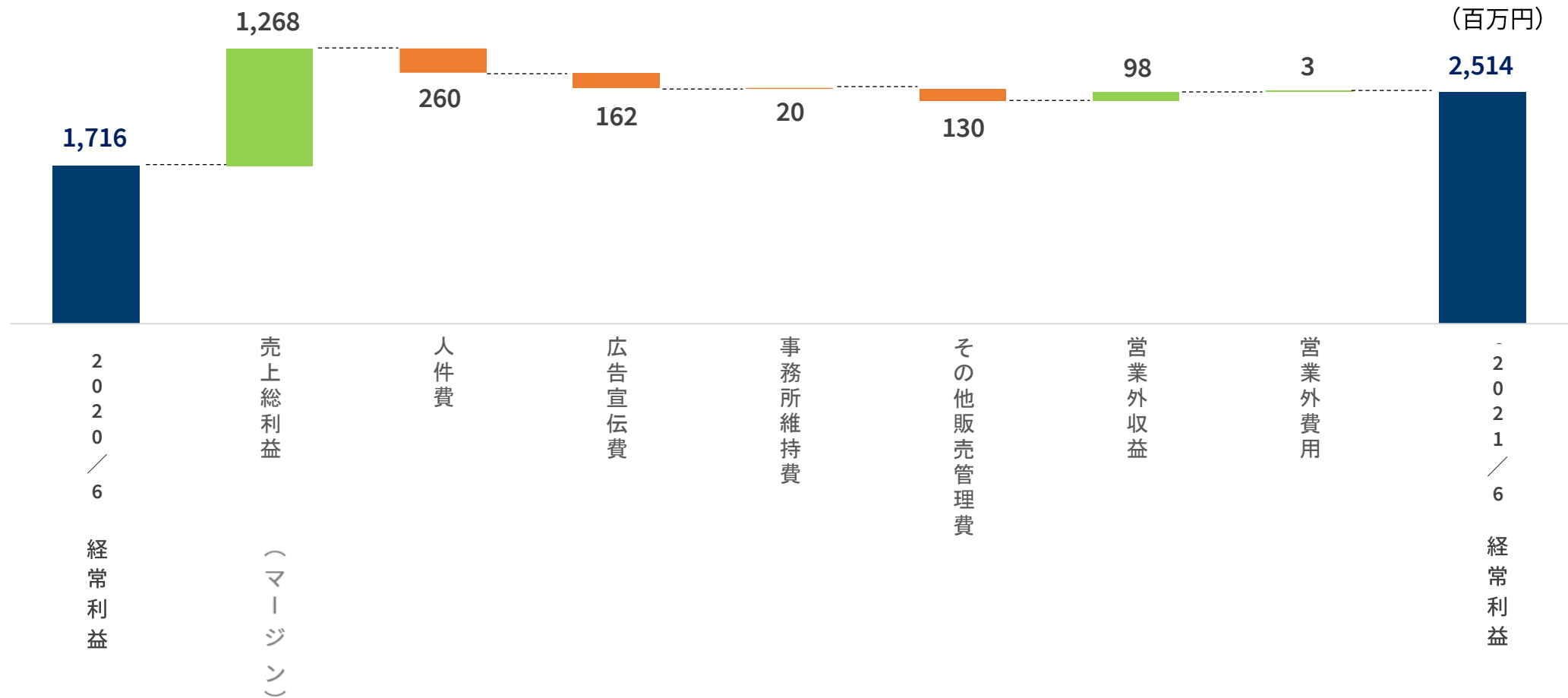
■HLBファンド8号への譲渡を実施→第4四半期（4月～6月）は売上高、営業利益とも過去最高を更新

経常利益増減要因内訳

■売上総利益（マージン）は前年同期比+ 10.9 %

■積極投資により、成長強化学業（フランチャイズ、ハウス・リースバック、金融）を中心に人件費、広告宣伝費は増加

■オンライン、デジタル活用によりその他販管費は、効率的にコントロール



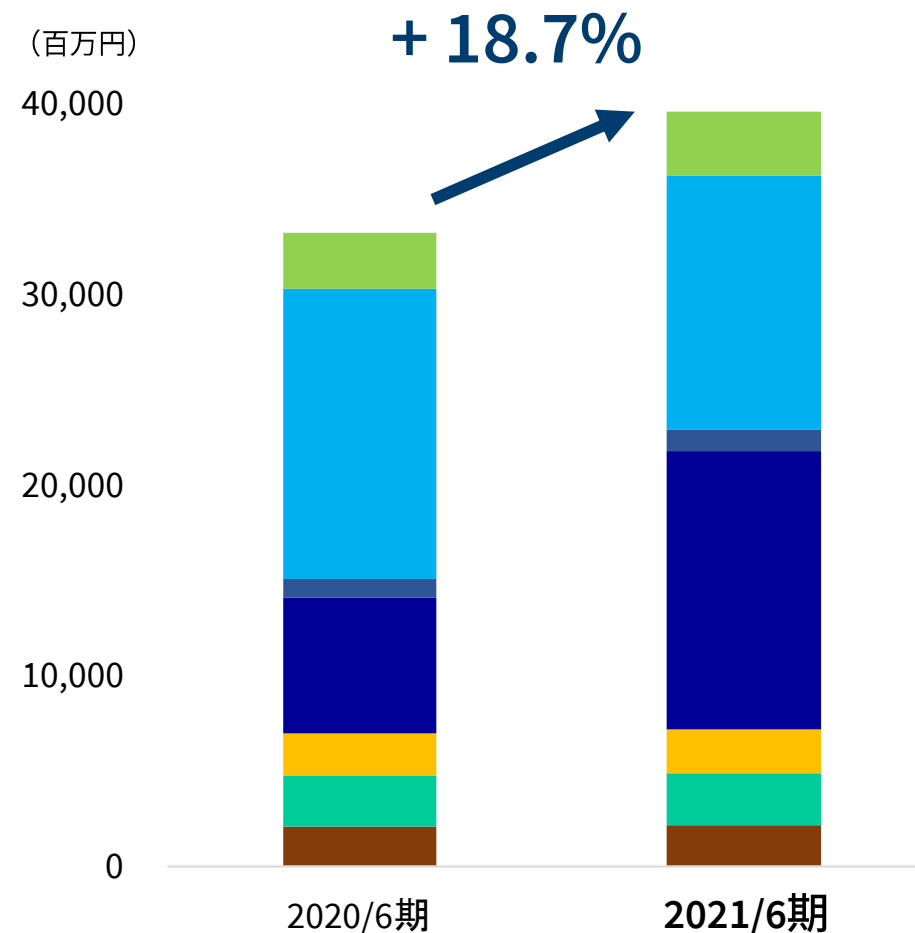
2021年6月期 セグメント売上高（事業別）

セグメント別売上高

単位（百万円）

(前期比較)	2020/6期	2021/6期	前年同期 増減率
フランチャイズ事業	2,965	3,335	+ 12.5%
ハウス・リースバック事業	15,219	13,356	▲ 12.2%
金融事業	1,007	1,094	+ 8.6%
不動産売買事業	7,108	14,624	+ 105.7%
不動産流通事業	2,252	2,311	+ 2.6%
リフォーム事業	2,631	2,716	+ 3.2%
小山建設グループ	2,070	2,141	+ 3.4%
その他	13	10	▲ 22.0%
調整額	▲ 390	▲ 554	-
合計	32,878	39,037	+ 18.7%

セグメント別売上高推移グラフ



■フランチャイズ事業、金融事業は安定して推移 不動産売買事業は好調を維持し、前期比+105.7%で着地
 ■ハウス・リースバック事業の前期比減は、流動化を抑制した影響

2021年6月期 セグメント利益（事業別）

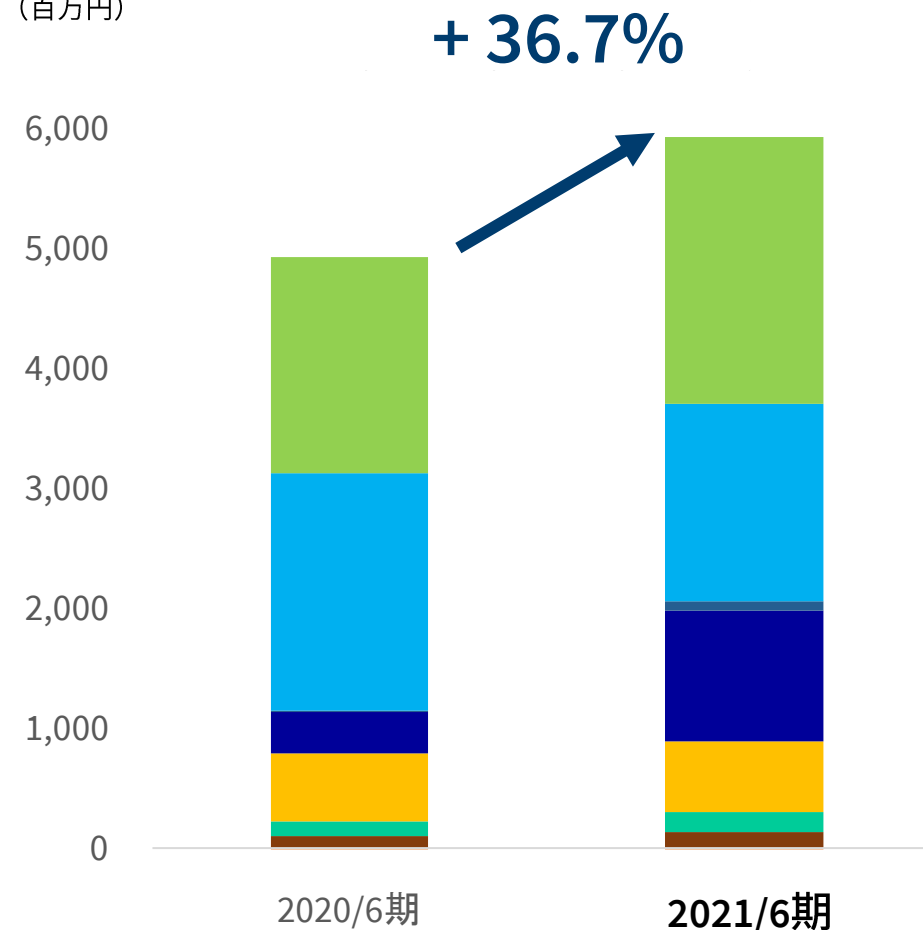
セグメント別利益

単位（百万円）

(前期比較)	2020/6期	2021/6期	前年同期 増減率
フランチャイズ事業	1,801	2,226	+ 23.5%
ハウス・リースバック事業	1,979	1,653	▲ 16.5%
金融事業	17	76	+ 334.1%
不動産売買事業	340	1,082	+ 217.9%
不動産流通事業	574	596	+ 3.8%
リフォーム事業	115	171	+ 48.3%
小山建設グループ	102	127	+ 24.6%
その他	▲ 10	▲ 5	-
調整額	▲ 3,028	▲ 3,338	-
合計	1,893	2,589	+ 36.7%

セグメント別利益推移グラフ

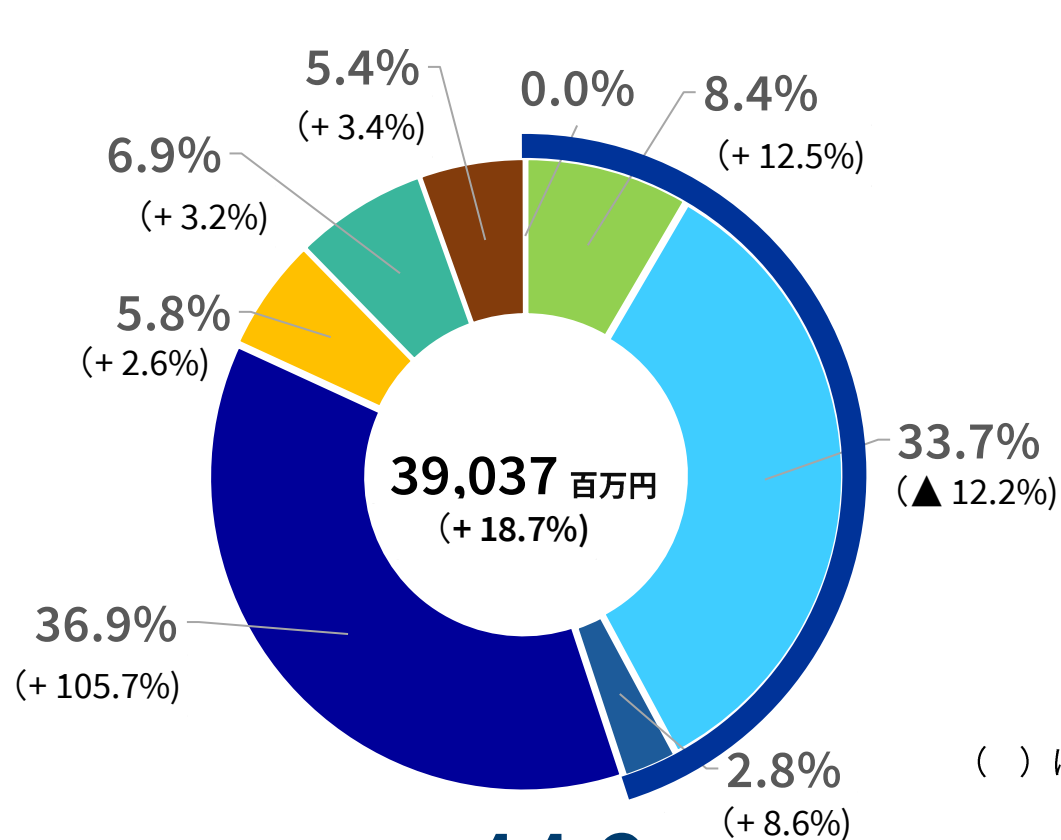
(百万円)



■流動化を抑制したハウス・リースバック事業を除き、各セグメントは前期比を上回る

■ハウス・リースバック事業の仕入契約件数は、人財・広告宣伝費投資等の効果により順調に増加

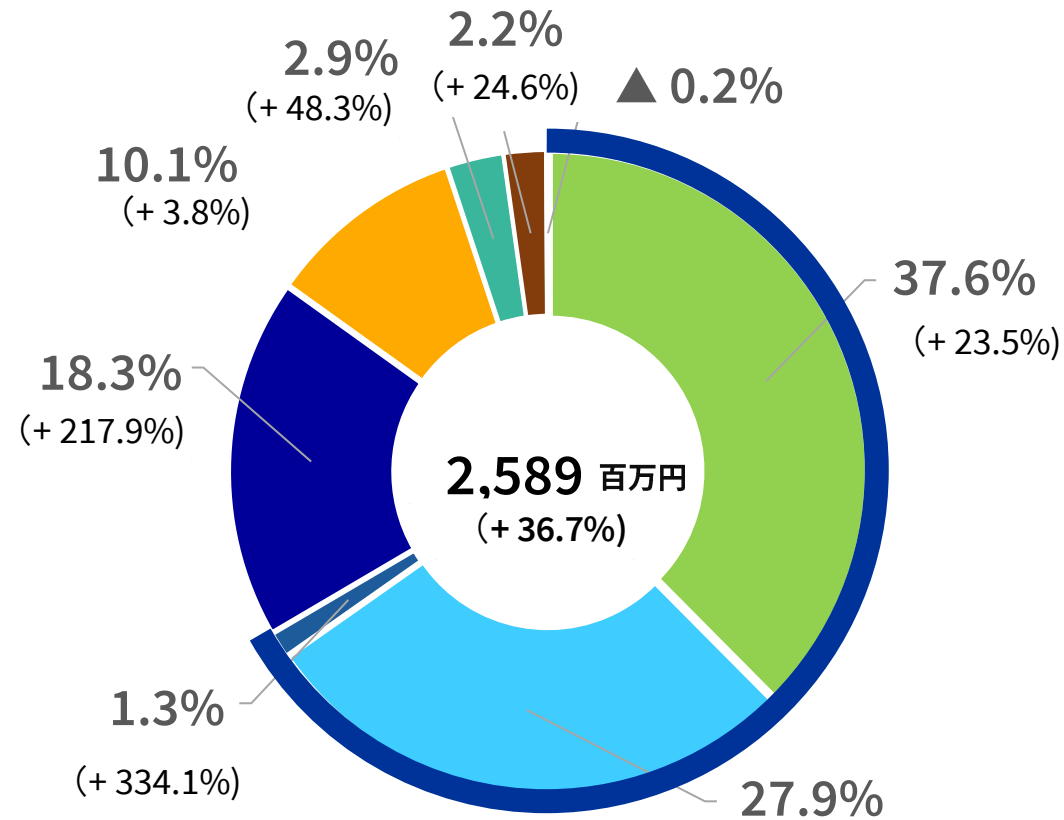
2021年6月期 売上高



成長強化事業 44.9%
(ストックをベース) (前期+57.7%)

- フランチャイズ事業
- ハウズ・リースバック事業
- 不動産流通事業
- リフォーム事業

2021年6月期 営業利益



成長強化事業 66.7%
(ストックをベース) (前期+77.2%)

- 金融事業
- 不動産売買事業
- 小山建設グループ
- その他

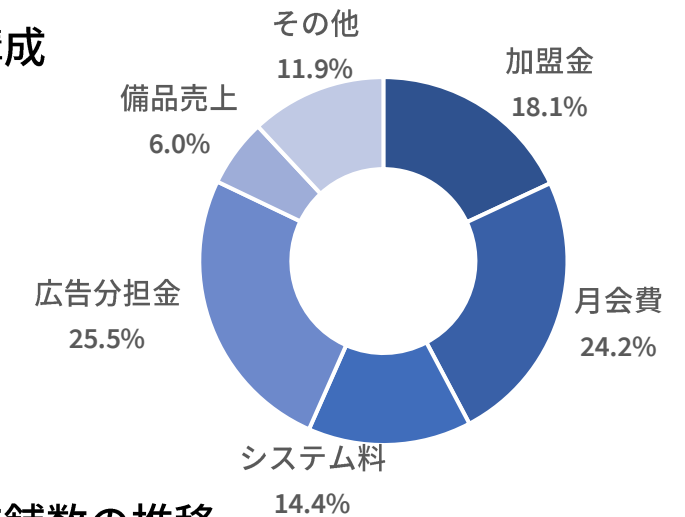
() は前期比

1. 会社概要
2. 2021年6月期 連結決算概要
- 3. 2021年6月期 セグメント別決算概要**
4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画
5. 【参考資料】外部環境

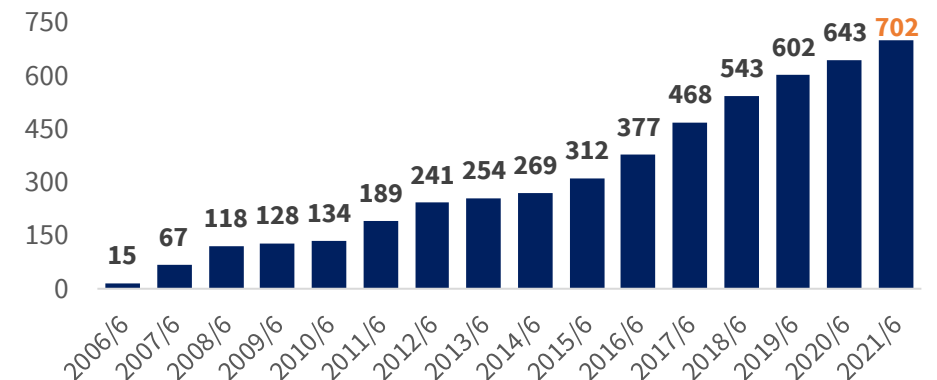
売上高・営業利益推移

	2020/6期	2021/6期	対前年 増減率	2022/6期 (予)
売上高 (百万円)	2,965	3,335	+ 12.5%	3,563
営業利益 (百万円)	1,801	2,226	+ 23.5%	2,408
営業利益率 (%)	60.8%	66.7%	—	67.6%
累計加盟店舗数	643	702	—	767
累計開店店舗数	556	616	—	676

売上構成



加盟店舗数の推移



■ 新規加盟店舗数 142件 新規開店店舗数 140店舗 累計加盟店舗数 702店舗

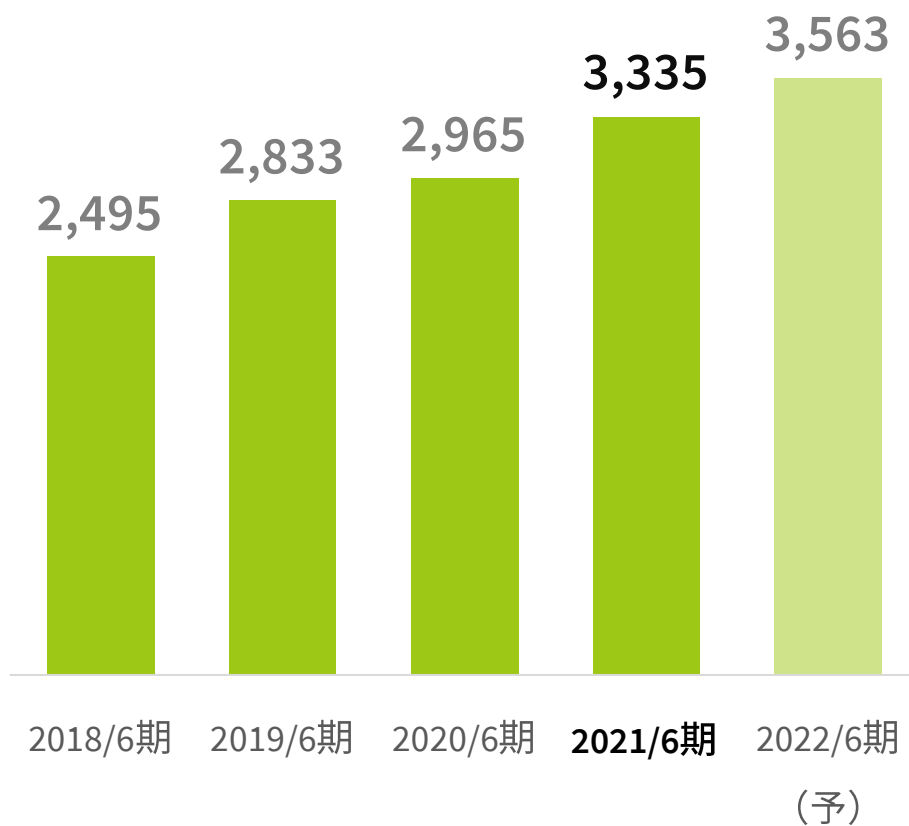
■ 堅調な不動産業種への関心が高まり、従来からニーズの多かった異業種参入が好調

■ 出店余地が大きく増加傾向にある首都圏をはじめ、加盟促進に向け人財・広告宣伝費投資等を継続

売上高推移

百万円

前期比 **+ 12.5 %**

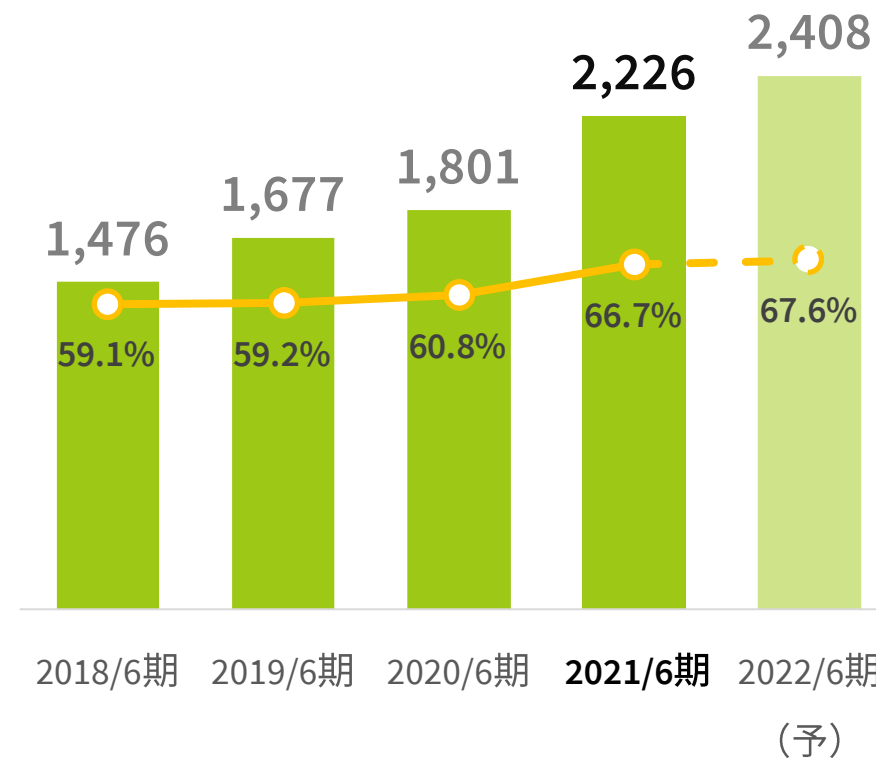


営業利益推移

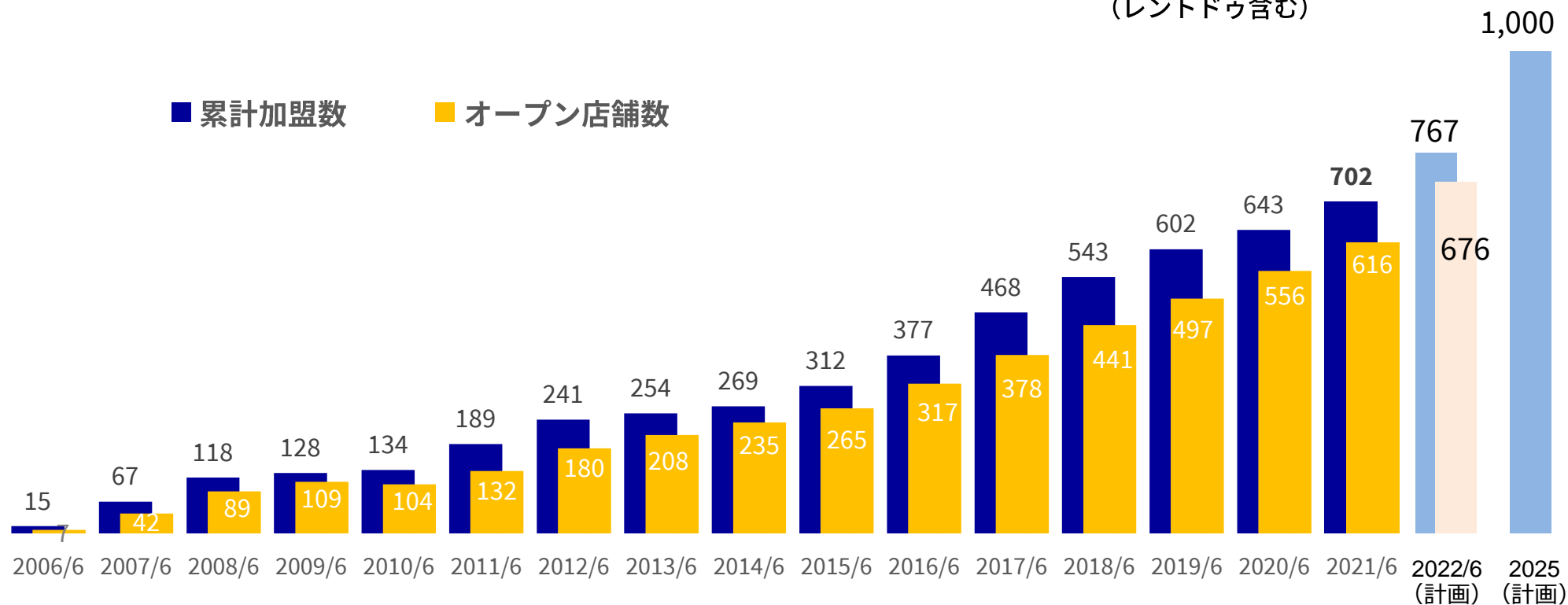
百万円

前期比 **+ 23.5 %**

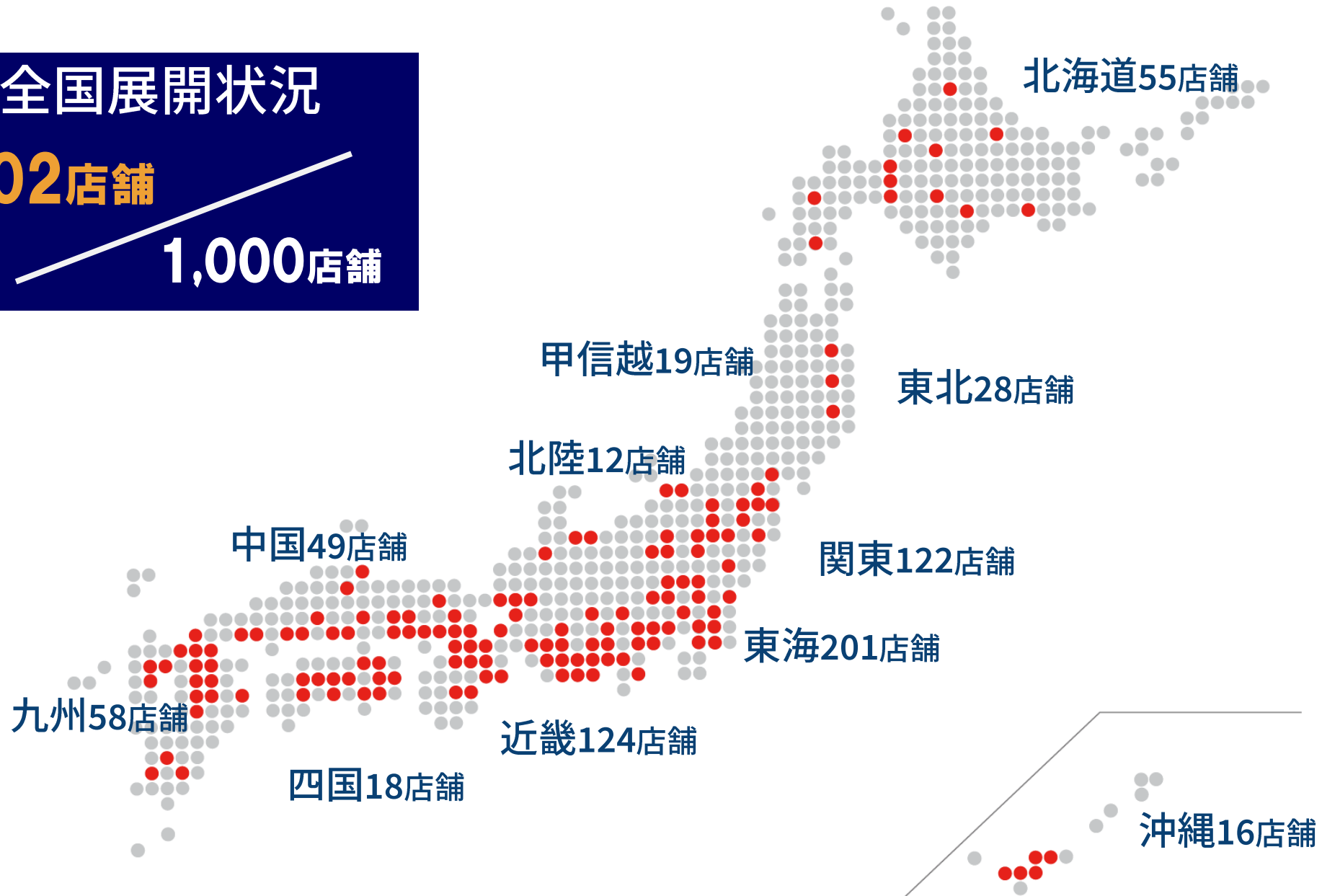
■ 営業利益 ○ 営業利益率



2021年6月末日現在 **702店舗** ※内準備中 86店舗
(レントドゥ含む)



	サテライト店	買取専門店	住宅情報モール	レントドゥ	合計
FC加盟店	535	100	2	36	673
直営店	10	14	3	2	29
合計	545	114	5	38	702



ハウス・リースバック事業

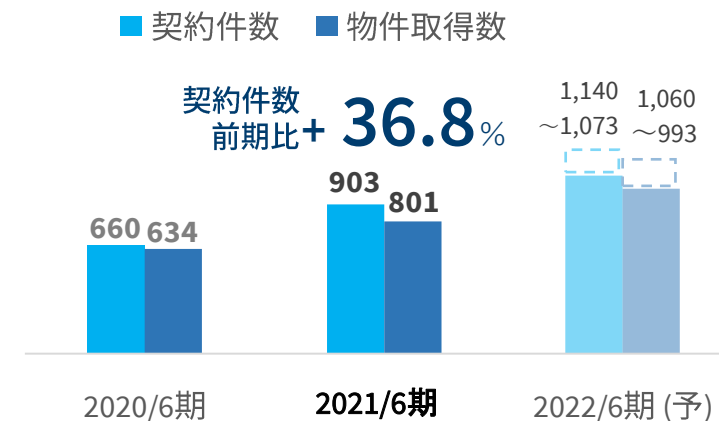
売上高・営業利益推移

	2020/6期	2021/6期	対前年 増減率	2022/6期 (予)
売上高 (百万円)	15,219	13,356	▲ 12.2%	17,228 ~15,942
営業利益 (百万円)	1,979	1,653	▲ 16.5%	2,335 ~2,100
営業利益率 (%)	13.0%	12.4%	—	13.6% ~13.2%
契約件数	660	903	+ 36.8%	1,140 ~1,073
物件取得数	634	801	+ 26.3%	1,060 ~993
累計保有件数	217	339	—	532 ~527
保有物件総額 (百万円)	3,329	4,594	—	6,423 ~6,324

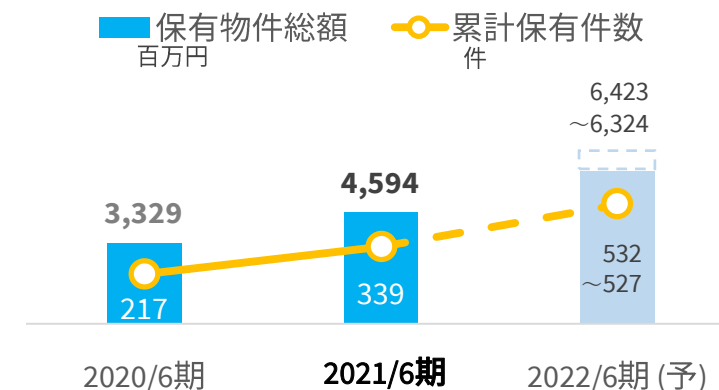
※報告セグメントの変更等に関する事項の影響を考慮して期初数値から修正。詳細は短信p21をご参照ください。

- 仕入契約件数903件（75.3件/月・前期比+36.8%） 直近3ヶ月平均は84.0件/月
 ➡積極的な人財・広告宣伝費投資継続と出店によるエリア拡大が奏功
- 業績の前期比減は、流動化のボリューム抑制によるもの

契約件数・物件取得数の推移



保有物件数・総額の推移



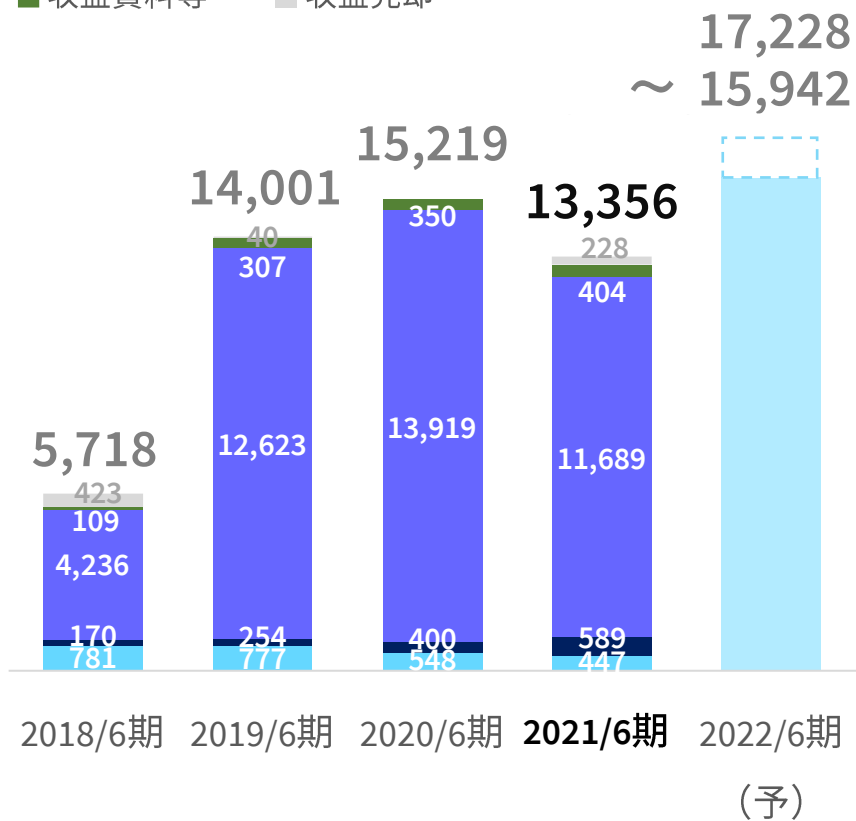
売上高推移

百万円

前期比

▲ **12.2** %

- 賃料収入等
- 手数料等
- 売却売上高
- 収益賃料等
- 収益売却



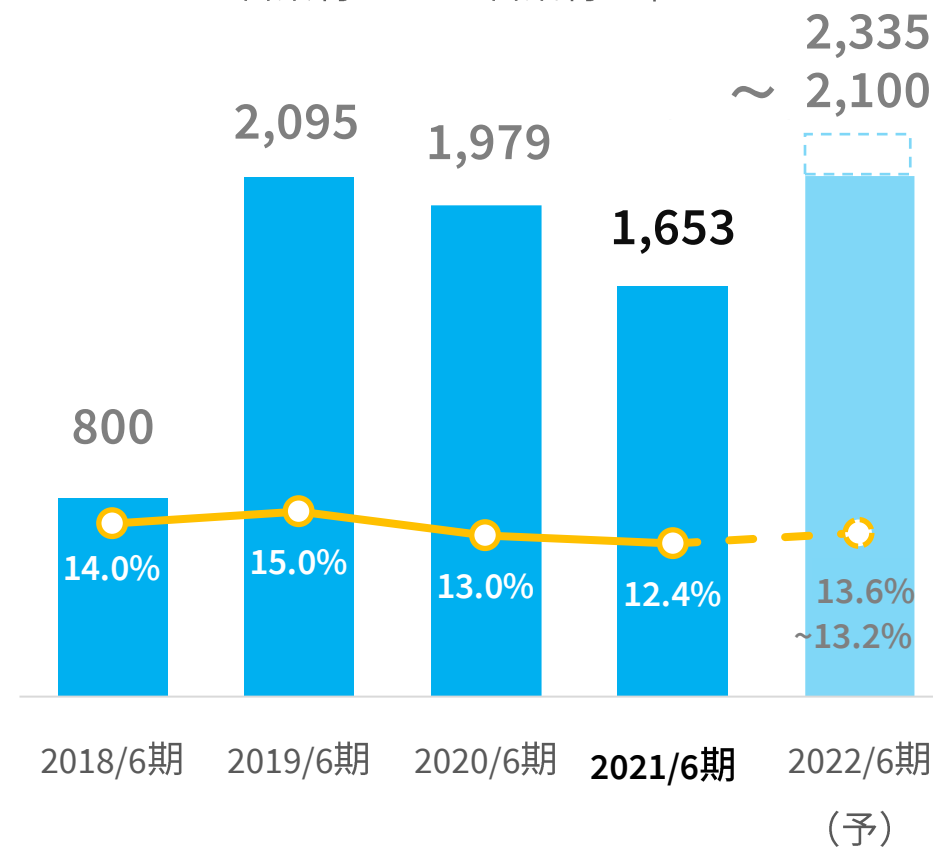
営業利益推移

百万円

前期比

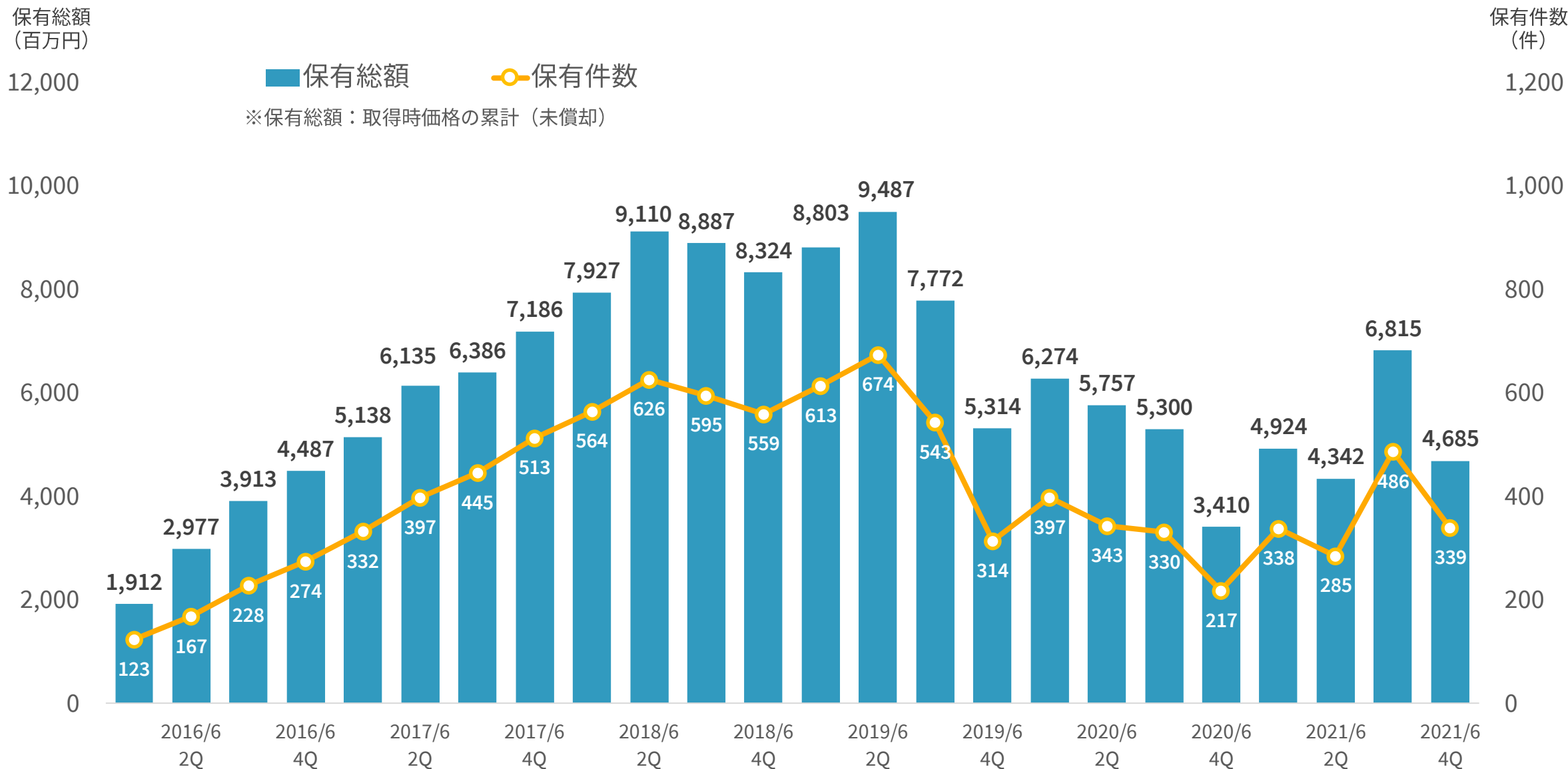
▲ **16.5** %

- 営業利益
- 営業利益率



※報告セグメントの変更等に関する事項の影響を考慮し、2019/6期以前も遡及して修正しております。

ハウス・リースバック事業 保有総額・保有件数



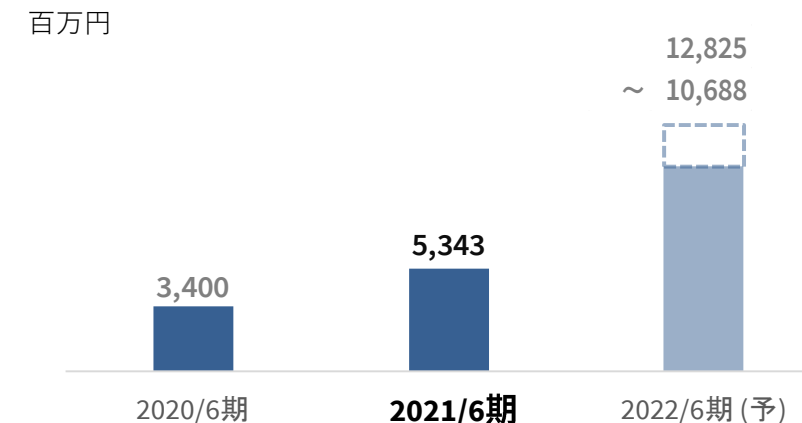
売上高・営業利益推移

	2020/6期	2021/6期	対前年 増減率	2022/6期 (予)
売上高 (百万円)	1,007	1,094	+ 8.6%	1,012 ~952
営業利益 (百万円)	17	76	+ 334.1%	160 ~100
営業利益率 (%)	1.7%	7.0%	—	15.8% ~10.5%
リバースモーゲージ 新規保証件数	145	221	+ 52.4%	878 ~675
リバースモーゲージ 保証残高 (百万円)	3,400	5,343	—	12,825 ~10,688
不動産担保融資 実行件数	207	167	▲ 19.3%	180
不動産担保融資 残高 (百万円)	11,045	9,744	—	7,600

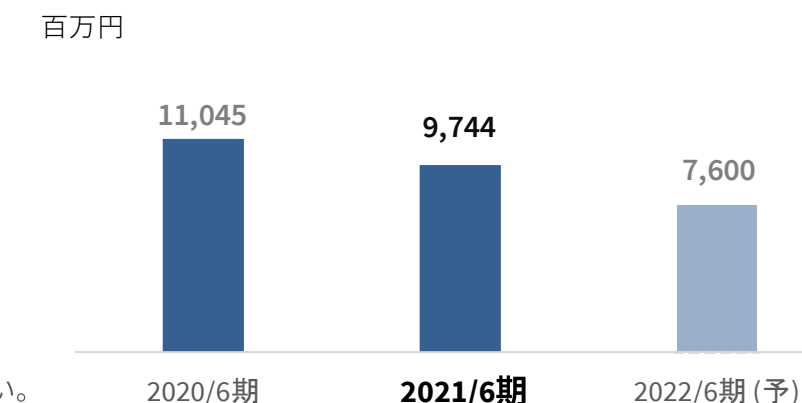
※報告セグメントの変更等に関する事項の影響を考慮して期初数値から修正。詳細は短信p21をご参照ください。

- リバースモーゲージ新規保証件数は前期比+52.4%、保証残高は前期末から+57.2% 増加ペースは上昇基調
- 不動産担保融資は残高より質を重視 グループの不動産サービスを絡めシナジーを効かす

リバースモーゲージ保証残高の推移



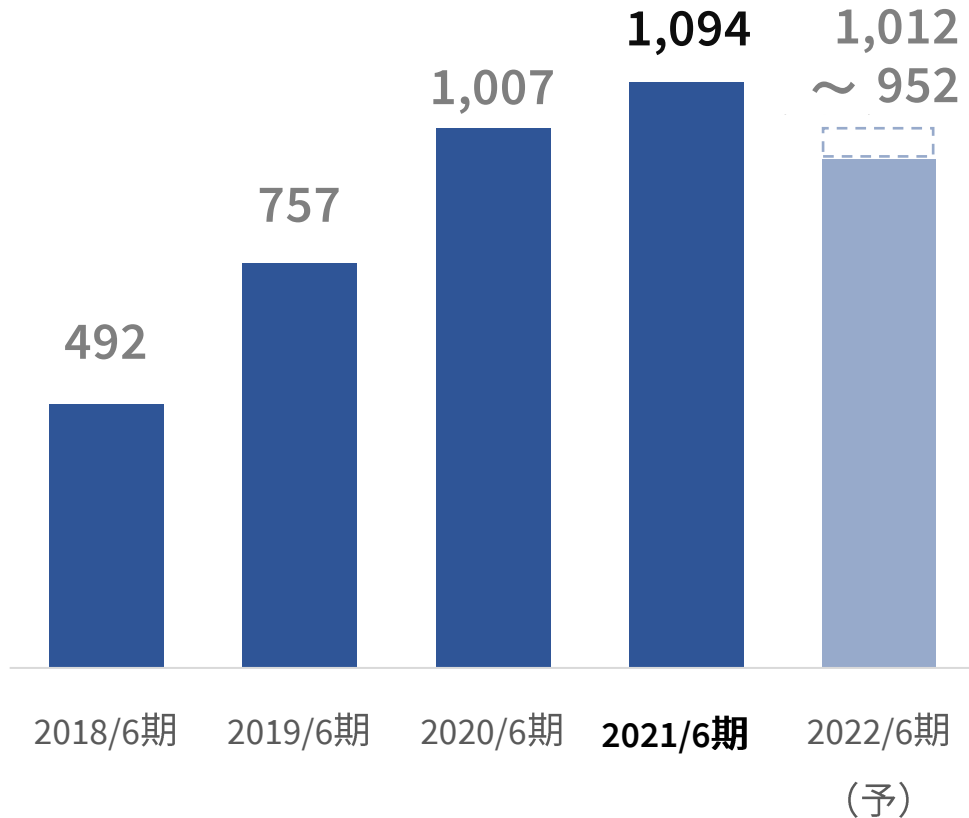
不動産担保融資残高の推移



売上高推移

百万円

前期比 **+ 8.6 %**

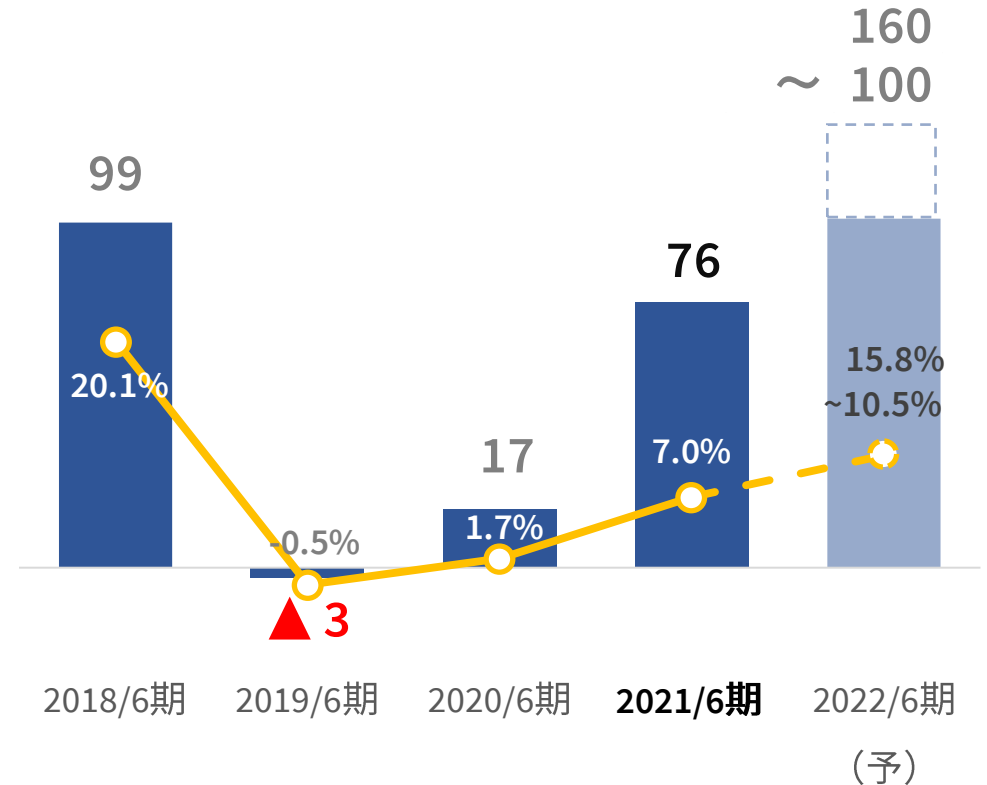


営業利益推移

百万円

前期比 **+ 334.1 %**

■ 営業利益 ○ 営業利益率

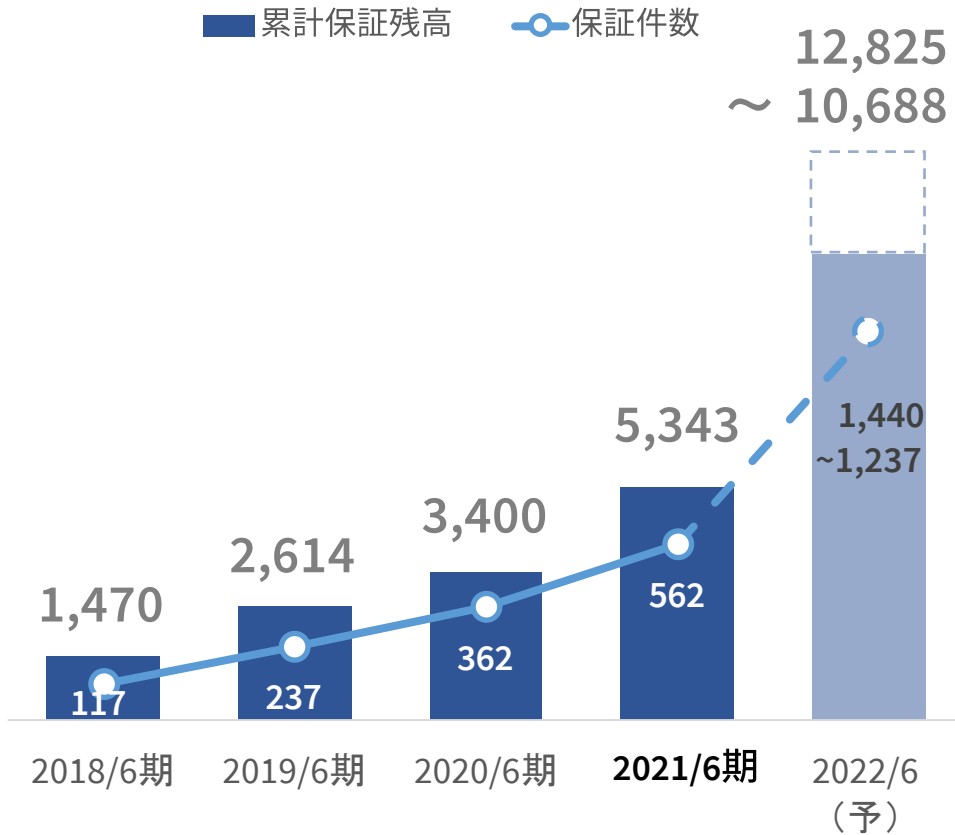


※報告セグメントの変更等に関する事項の影響を考慮し、2019/6期以前も遡及して修正しております。

リバースモーゲージ保証残高・件数推移

百万円

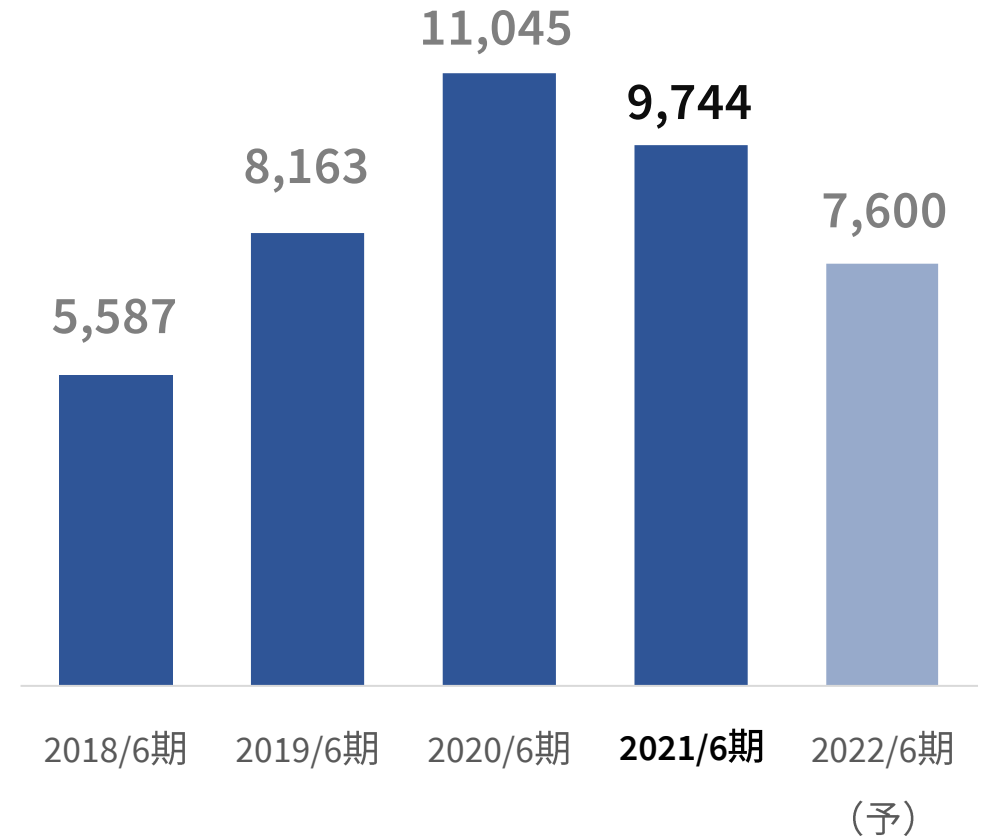
保証残高 **53.4 億円**



不動産担保融資残高推移

百万円

不動産担保融資残高 **97.4 億円**



(2021年8月16日現在)
26提携金融機関

関西エリア

大阪商工信用金庫	滋賀中央信用金庫
大阪信用金庫	長浜信用金庫
京滋信用組合	但馬銀行
湖東信用金庫	

中国四国エリア

愛媛銀行
高知銀行

関東エリア

足立成和信用金庫	東栄信用金庫
川口信用金庫	東京スター銀行
神奈川銀行	東京東信用金庫
さわやか信用金庫	飯能信用金庫
芝信用金庫	楽天銀行
大光銀行	富山信用金庫

東海エリア

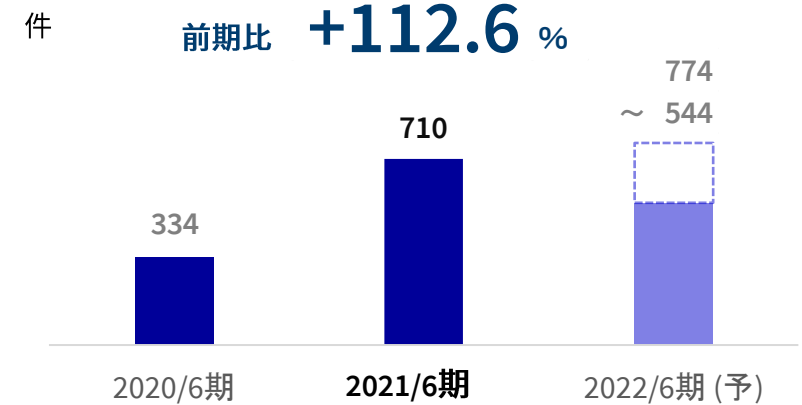
静清信用金庫	尾西信用金庫
知多信用金庫	三島信用金庫
浜松磐田信用金庫	

※五十音順。エリア区分は本店所在地

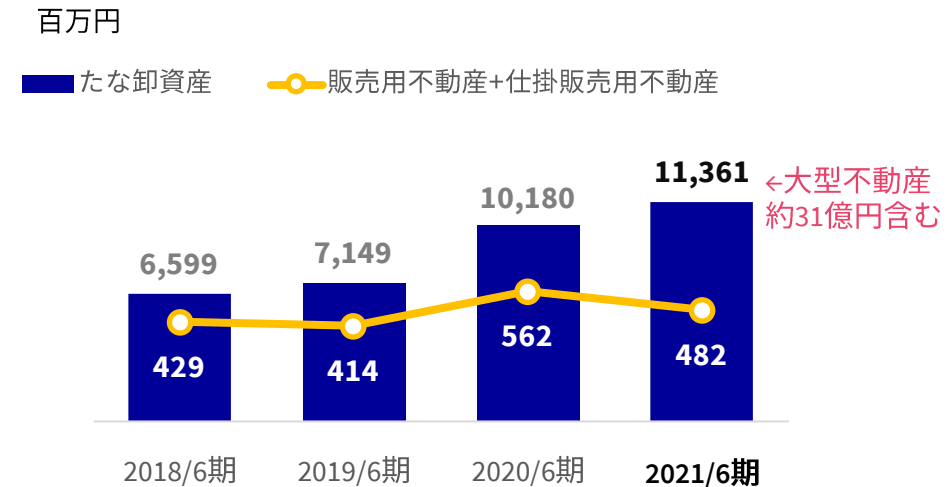
売上高・営業利益推移

	2020/6期	2021/6期	対前年 増減率	2022/6期 (予)
売上高 (百万円)	7,108	14,624	+ 105.7%	14,929 ~10,936
営業利益 (百万円)	340	1,082	+ 217.9%	1,265 ~861
営業利益率 (%)	4.8%	7.4%	—	8.5% ~7.9%
取引件数	334	710	+ 112.6%	774 ~544

取引件数の推移



たな卸資産の推移



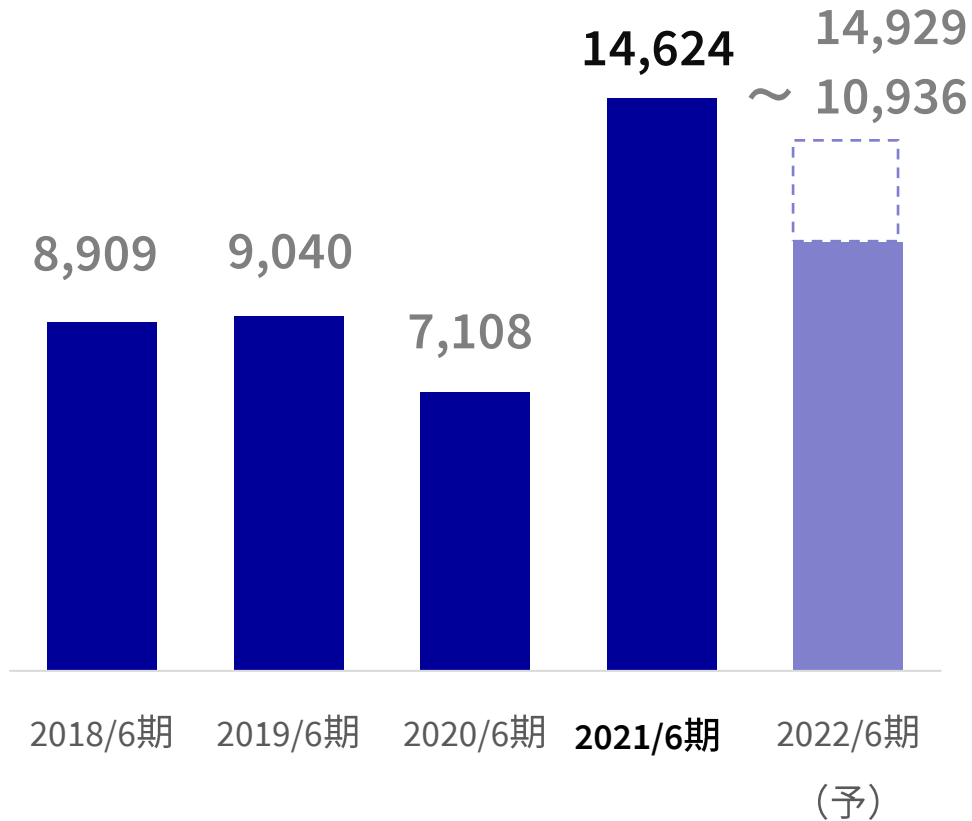
■ 住宅需要の活発な動きにより、売上高・利益とも通期計画上限値を超える着地

■ 今期期初在庫は当期を下回るも、足元の売却も好調 仲介事業との連携を一層強化し、仕入れに注力

売上高推移

百万円

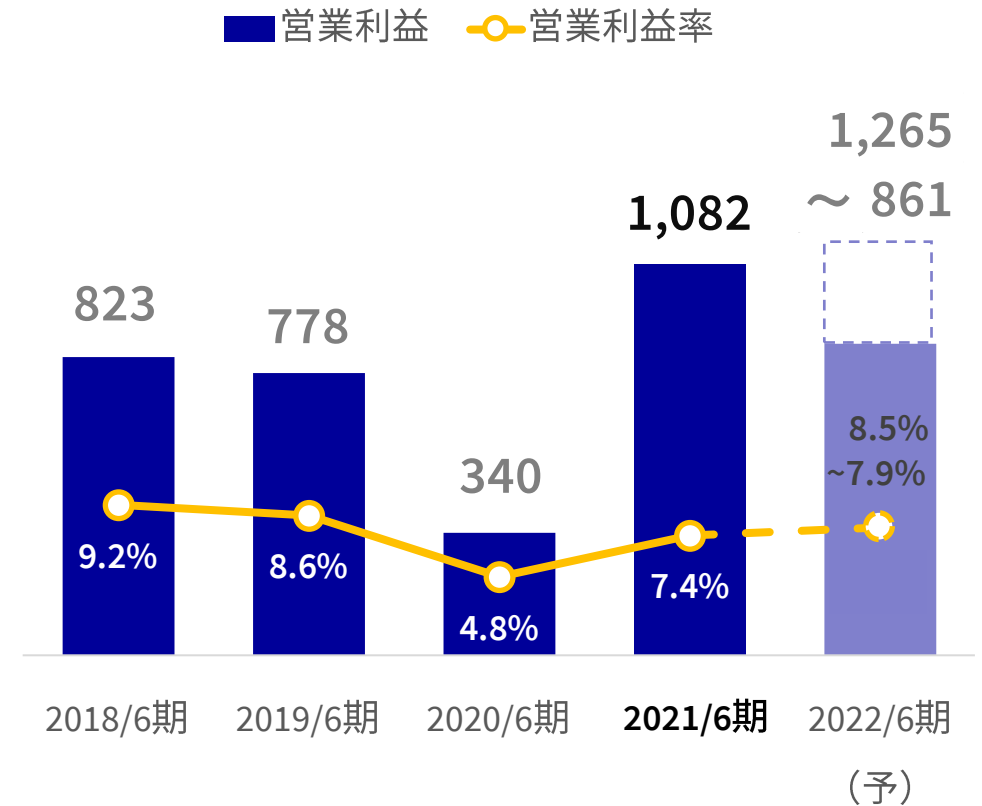
前期比 **+105.7%**



営業利益推移

百万円

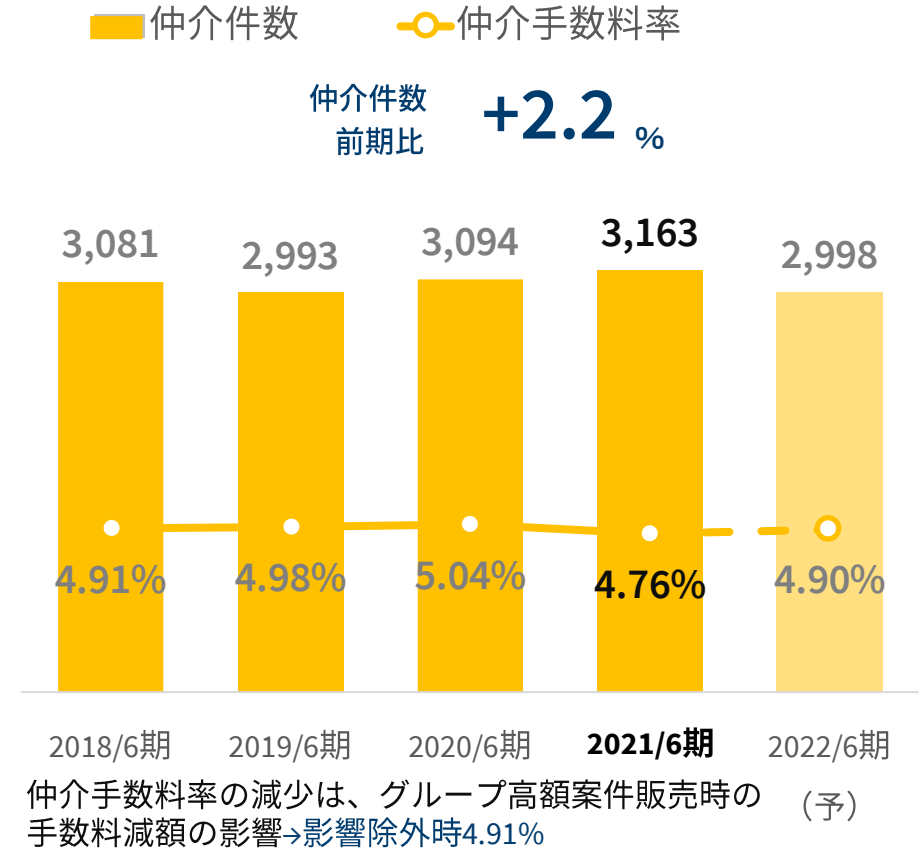
前期比 **+217.9%**



売上高・営業利益推移

	2020/6期	2021/6期	対前年 増減率	2022/6期 (予)
売上高 (百万円)	2,252	2,311	+ 2.6%	2,337
営業利益 (百万円)	574	596	+ 3.8%	623
営業利益率 (%)	25.5%	25.8%	—	26.7%
仲介件数	3,094	3,163	+ 2.2%	2,998
仲介手数料率	5.04%	4.76%	—	4.90%

仲介件数・手数料率の推移

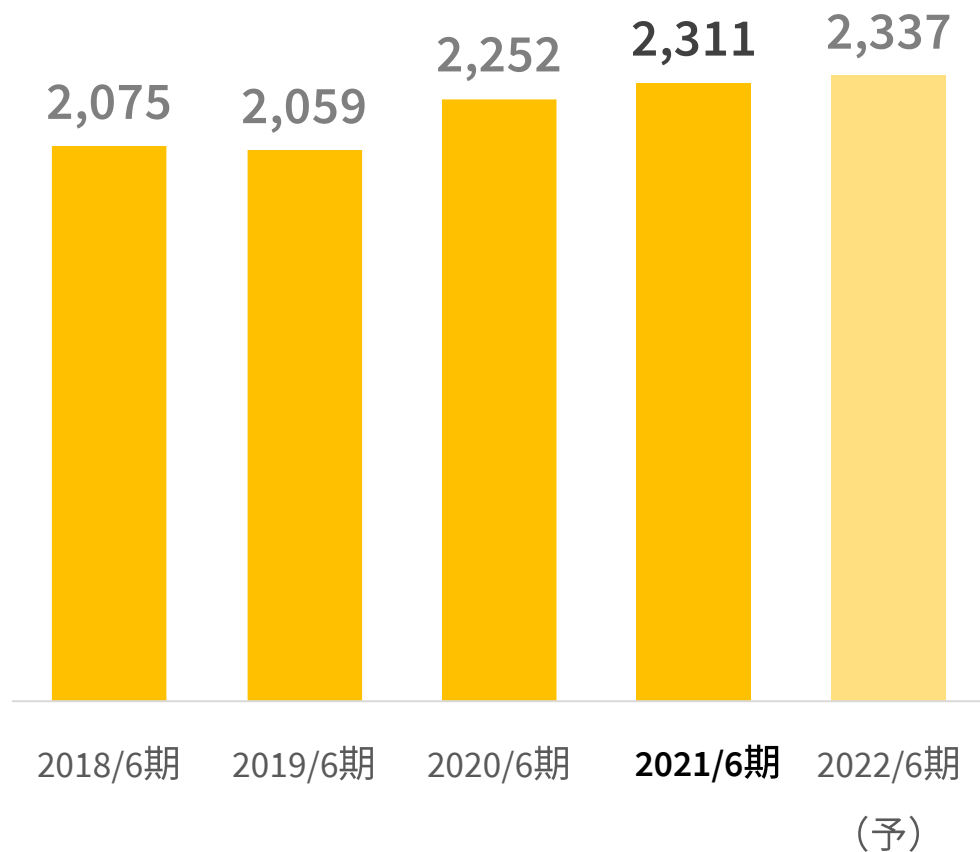


■ 成長強化事業への人員シフト及び強化エリアへの出店のため、3店舗閉店
 ➔ グループシナジーによる業績向上を見込む沖縄エリア、首都圏エリアへ新規出店

売上高推移

百万円

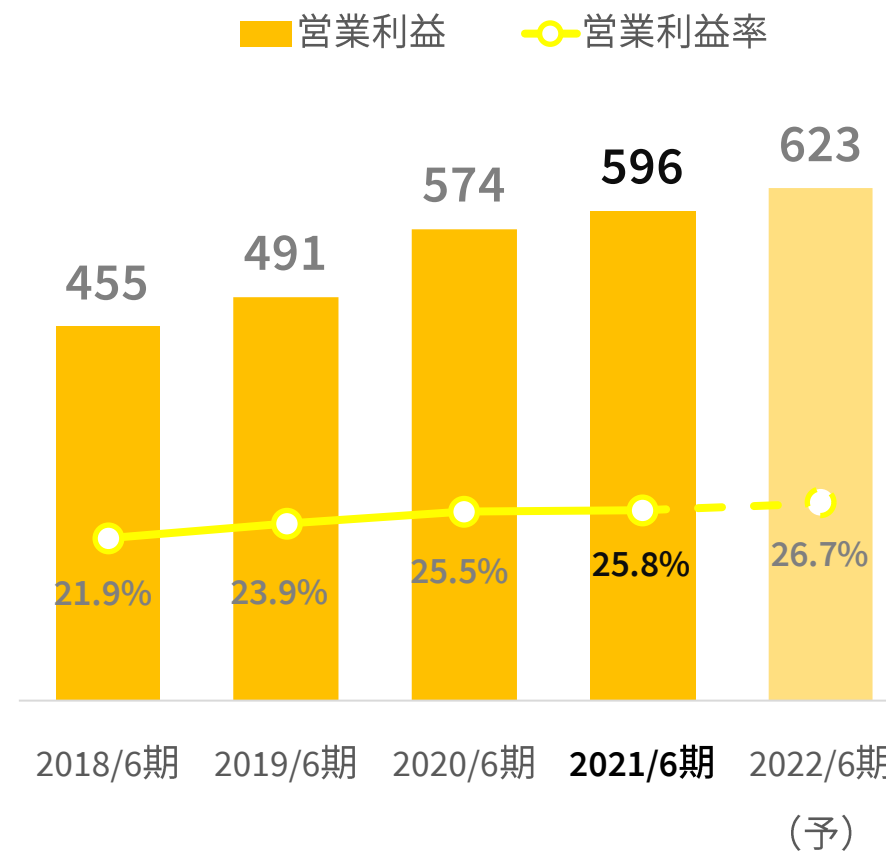
前期比 **+2.6%**



営業利益推移

百万円

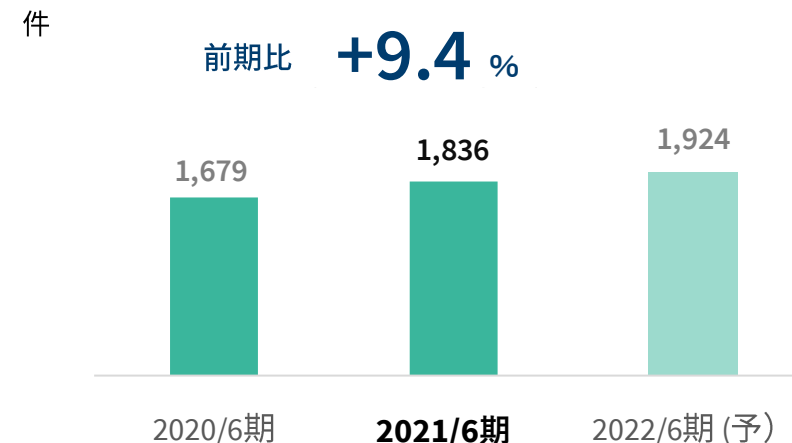
前期比 **+3.8%**



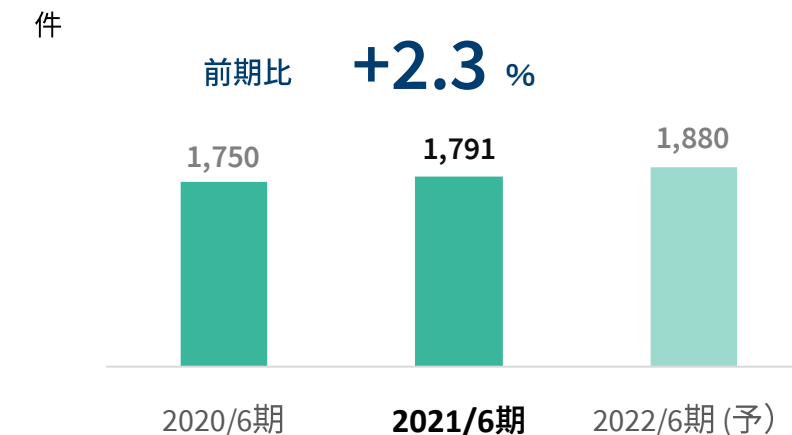
売上高・営業利益推移

	2020/6期	2021/6期	対前年 増減率	2022/6期 (予)
売上高 (百万円)	2,631	2,716	+ 3.2%	2,972
営業利益 (百万円)	115	171	+ 48.3%	236
営業利益率 (%)	4.4%	6.3%	—	7.9%
リフォーム契約件数	1,679	1,836	+ 9.4%	1,924
リフォーム引渡件数	1,750	1,791	+ 2.3%	1,880

リフォーム契約件数の推移



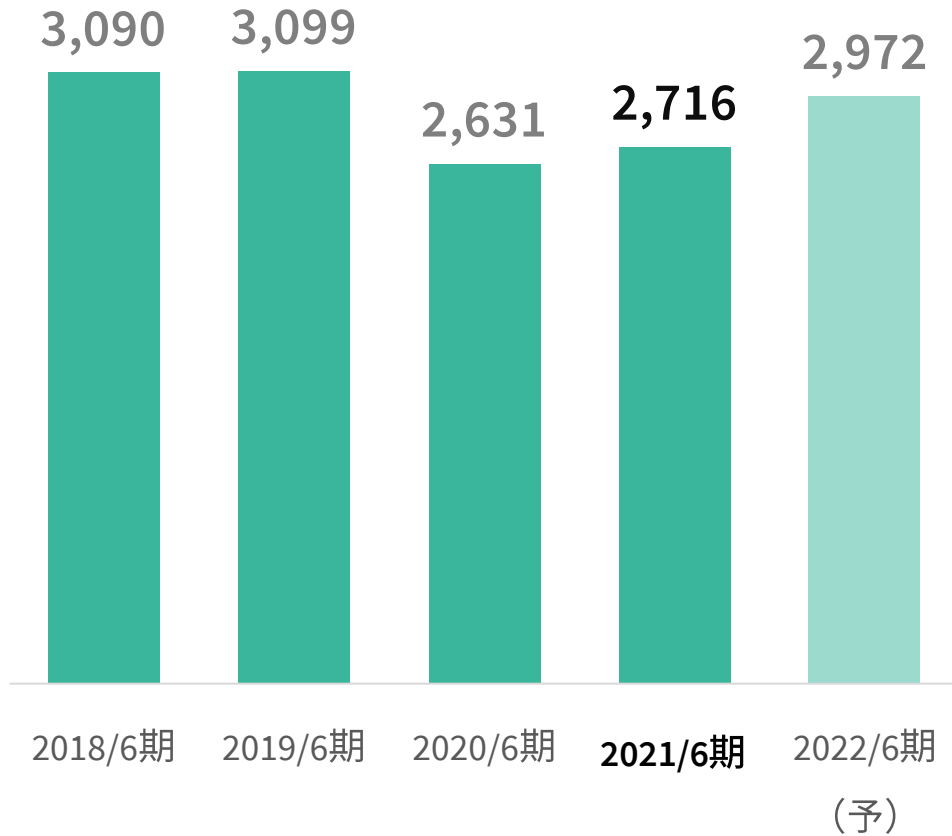
リフォーム引渡件数の推移



- 前期末からのコロナ禍の影響により低調にスタートするも、徐々に受注は回復し、前期を上回る着地
- 仲介事業との連携を強化し、中古住宅＋リフォームによる受注に繋げる

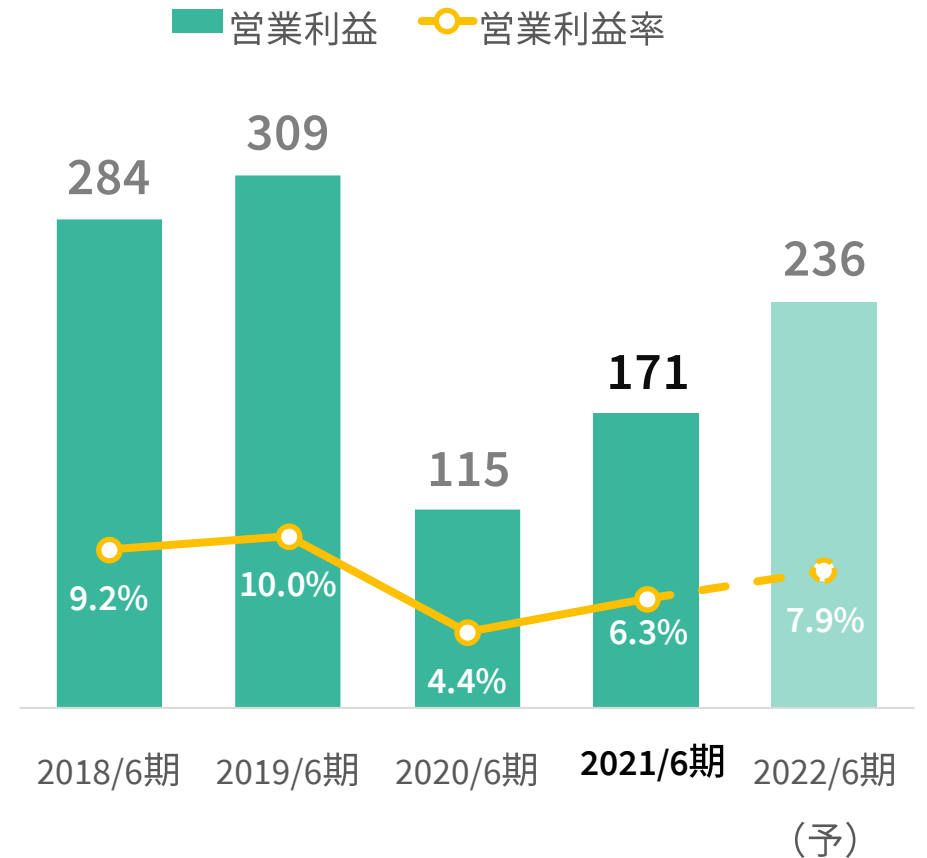
売上高推移
百万円

前期比 **+ 3.2 %**



営業利益推移
百万円

前期比 **+ 48.3 %**

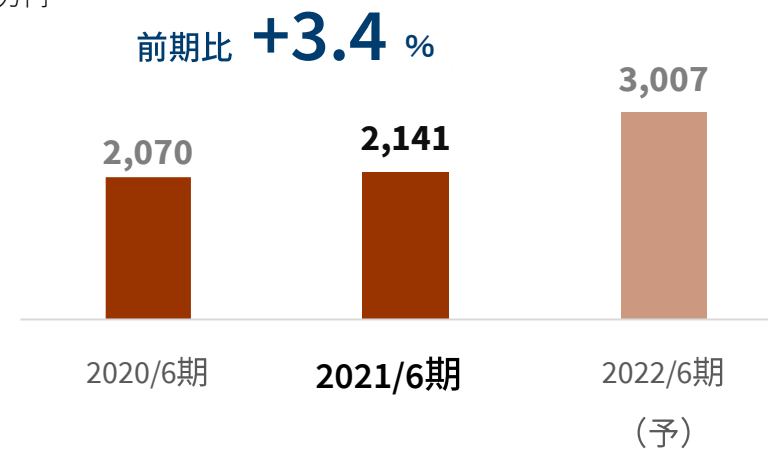


売上高・営業利益推移

	2020/6期	2021/6期	対前年 増減率	2022/6期 (予)
売上高 (百万円)	2,070	2,141	+ 3.4%	3,007
営業利益 (百万円)	102	127	+ 24.6%	189
営業利益率 (%)	5.0%	6.0%	—	6.3%
管理戸数	5,800	5,829	—	5,900

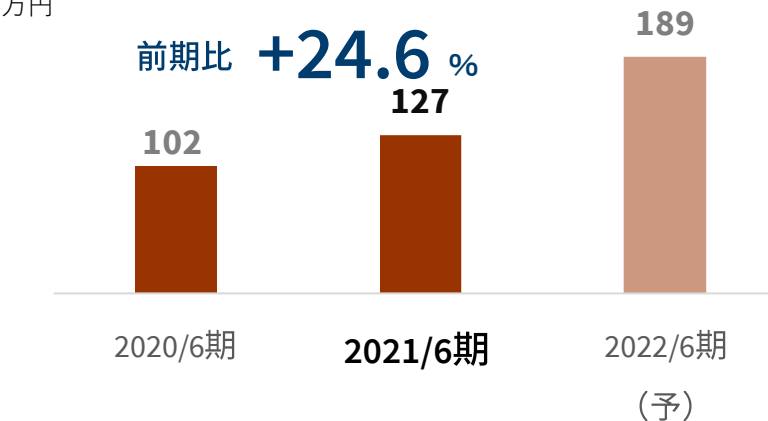
売上高推移

百万円



営業利益推移

百万円



- 賃貸管理及び収益不動産からの賃料収入等による安定収益は確保
- 地域密着の基盤とグループシナジーを活かし、一層の仕入れ強化を図る

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)

	2020/6期		2021/6期		対前年 増減率
	売上 対比		売上 対比		
販売費及び 一般管理費	9,752	29.7%	10,324	26.4%	+ 5.9%
人件費	4,444	13.5%	4,704	12.1%	+ 5.9%
広告宣伝費	1,531	4.7%	1,692	4.3%	+ 10.6%
事務所維持費	384	1.2%	404	1.0%	+ 5.2%
その他販売管理費	3,392	10.3%	3,522	9.0%	+ 3.8%
(売上総利益	11,646	35.4%	12,914	33.1%)

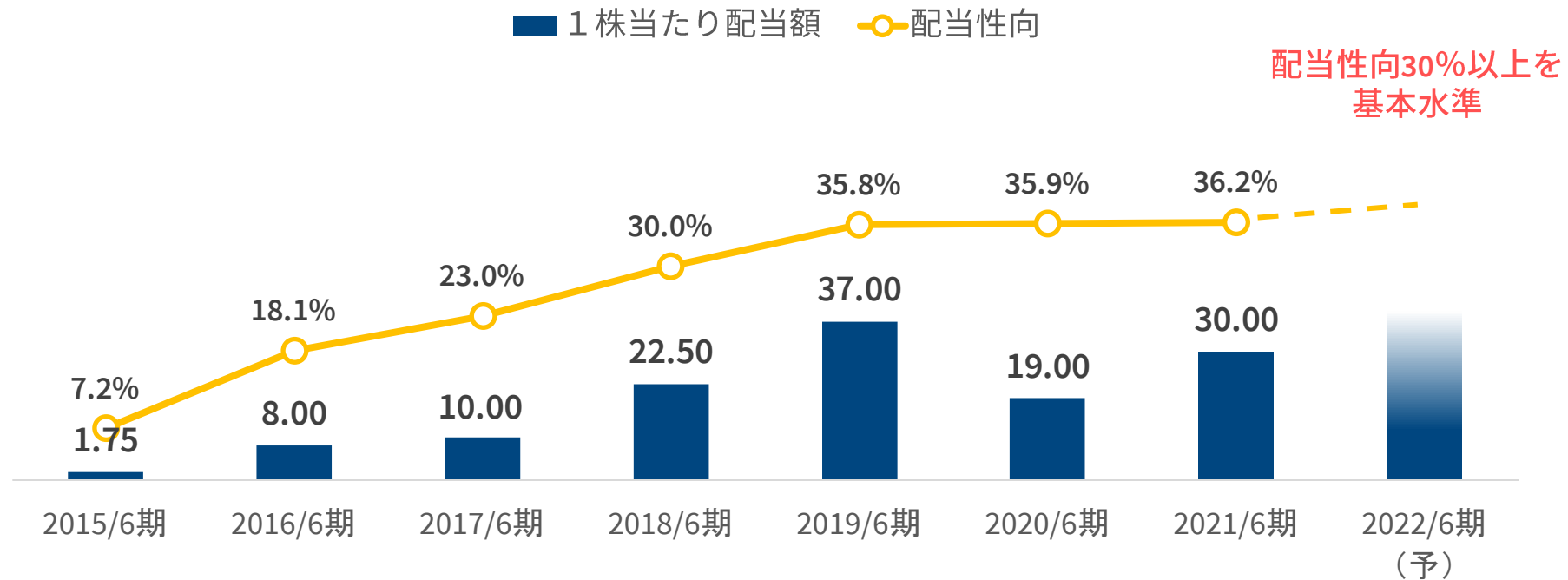
■売上高販管費率 前年同期 29.7% → 26.4%に低下

■成長強化事業を中心に広告宣伝及び人財投資を継続しつつ、全体としては効率的にコントロール

■ 将来の成長投資と内部留保の充実及び株主への利益還元とのバランスを勘案し、配当性向30%以上を基本水準に

➡ 2021年6月期 **1株当たり 30円** (配当性向36.2%)

■ 2022年6月期までは配当と株主優待による還元を実施



※ 2021年6月期の期末配当金については、2021年9月開催予定の定時株主総会に付議予定。

※ 1株当たり配当額は、2015年7月1日付で普通株式1株を5株に、2016年4月1日及び2018年7月1日付で普通株式1株を2株に分割した影響を加味し、遡及して修正した数値を記載しております。

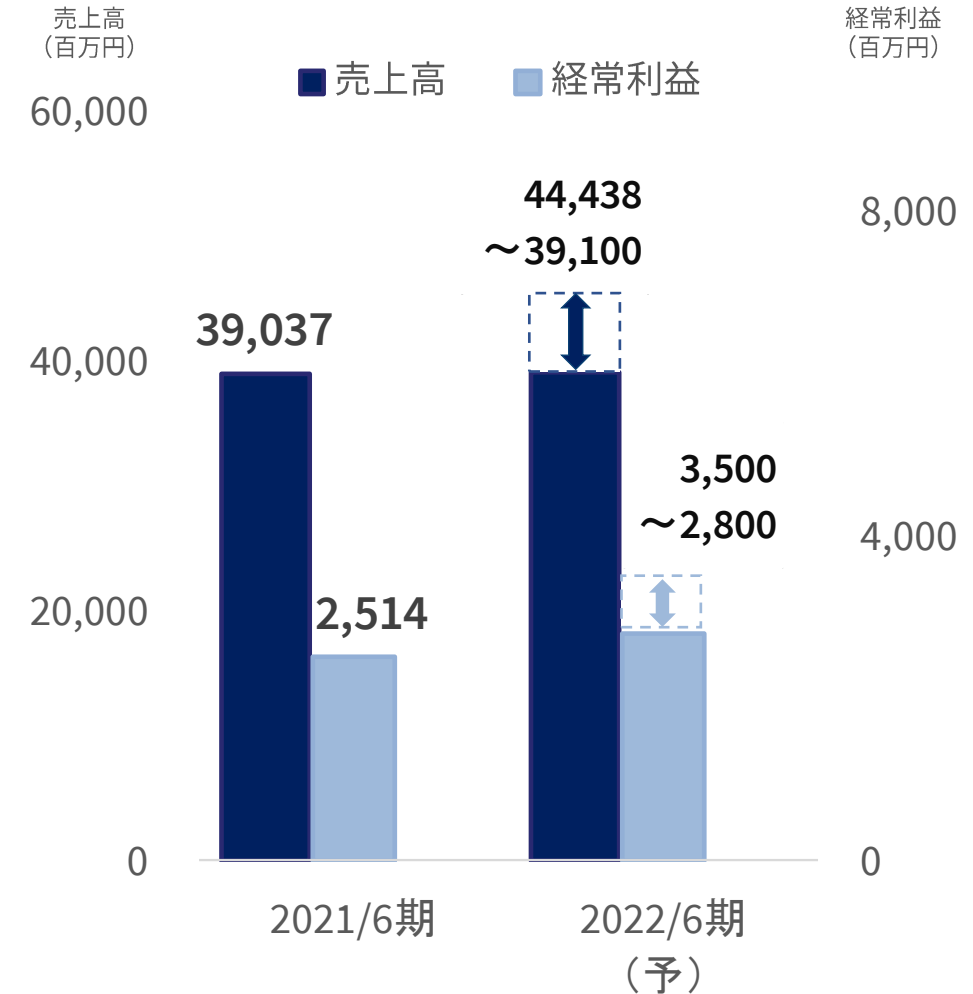
日付	リリース内容
4/12	リバースモーゲージの保証事業で東京東信用金庫と提携
4/19	スマート家電・機器を標準装備したIoT住宅「スマートDOホーム」販売開始のお知らせ
4/30	リバースモーゲージの保証事業で京滋信用組合と提携
5/11	リバースモーゲージ保証で契約数500件突破
5/21	ハウス・リースバック資産の流動化に関するお知らせ
5/28	スマート機器・設備を標準装備したIoT住宅「スマートDOホーム」モデルハウス第1号オープンのお知らせ
5/28	(開示事項の経過) ハウス・リースバック資産の流動化完了のお知らせ
6/18	ハウス・リースバックの利用拡大へ 仙台に直営店を出店
6/21	持株会社体制への移行検討開始に関するお知らせ
6/25	株式会社群馬銀行とハウス・リースバックのニーズマッチングでの業務提携のお知らせ
6/30	芝信用金庫とニーズマッチングでの業務提携のお知らせ

詳細は弊社コーポレートサイト (<https://www.housedo.co.jp/>) でご覧ください。

1. 会社概要
2. 2021年6月期 連結決算概要
3. 2021年6月期 セグメント別決算概要
4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画
5. 【参考資料】外部環境

- 成長強化事業の伸長に加え、堅調な住宅需要の下支えにより増収増益を見込む
- 下限値をベースとして、経済活動の改善状況及び各種取り組みの効果を想定し、上限値を設定

	2021/6期 実績	2022/6期 (予)	単位 (百万円) 対前年 増減率
売上高	39,037	44,438 ～ 39,100	+ 13.8% ～ + 0.2%
営業利益	2,589	3,673 ～ 2,973	+ 41.9% ～ + 14.8%
経常利益	2,514	3,500 ～ 2,800	+ 39.2% ～ + 11.4%
純利益	1,616	2,310 ～ 1,848	+ 42.9% ～ + 14.3%
1株当たり 純利益 (円)	82.87	118.13 ～ 94.50	—

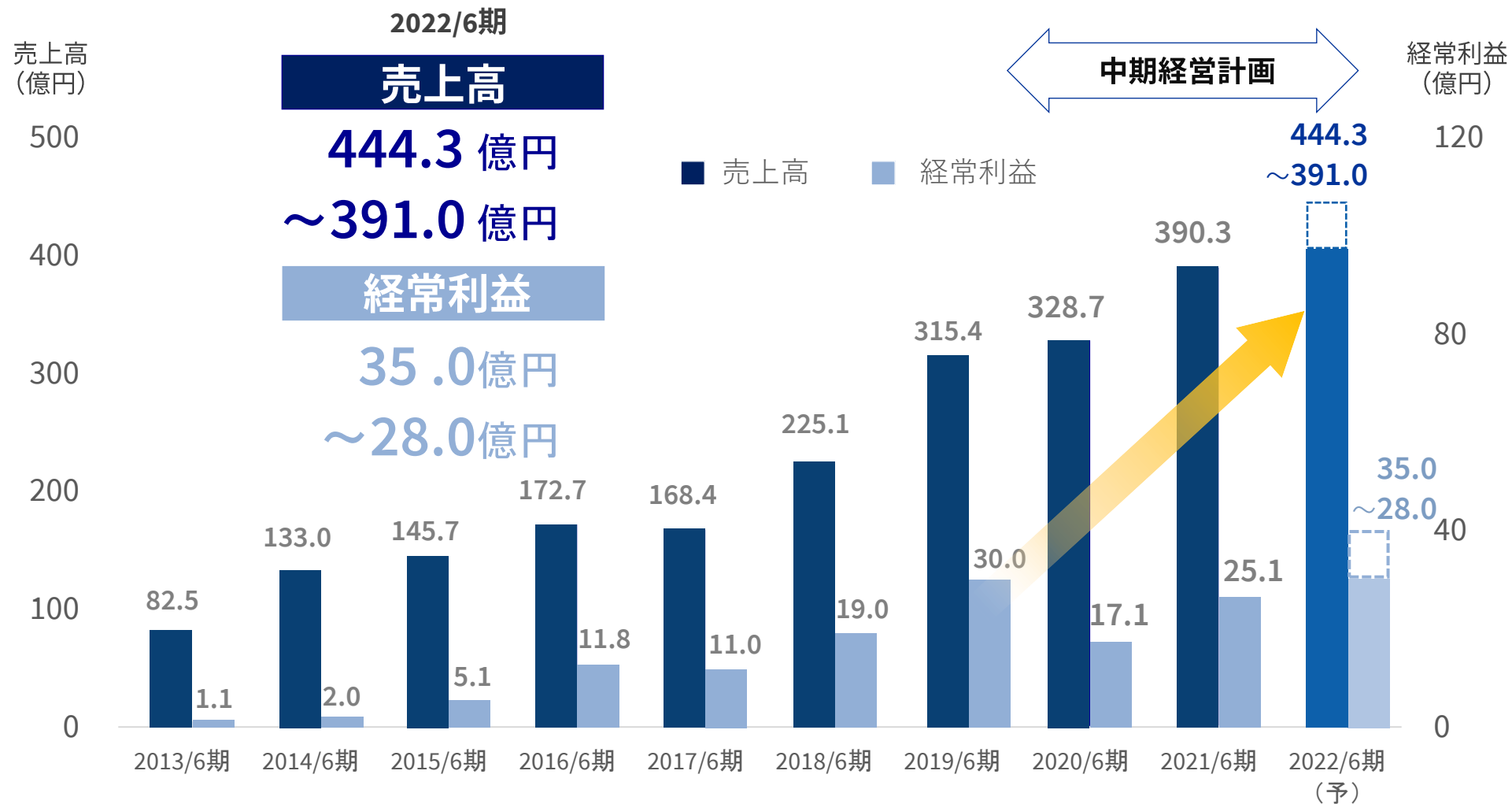


2022年6月期計画：セグメント別売上高・営業利益

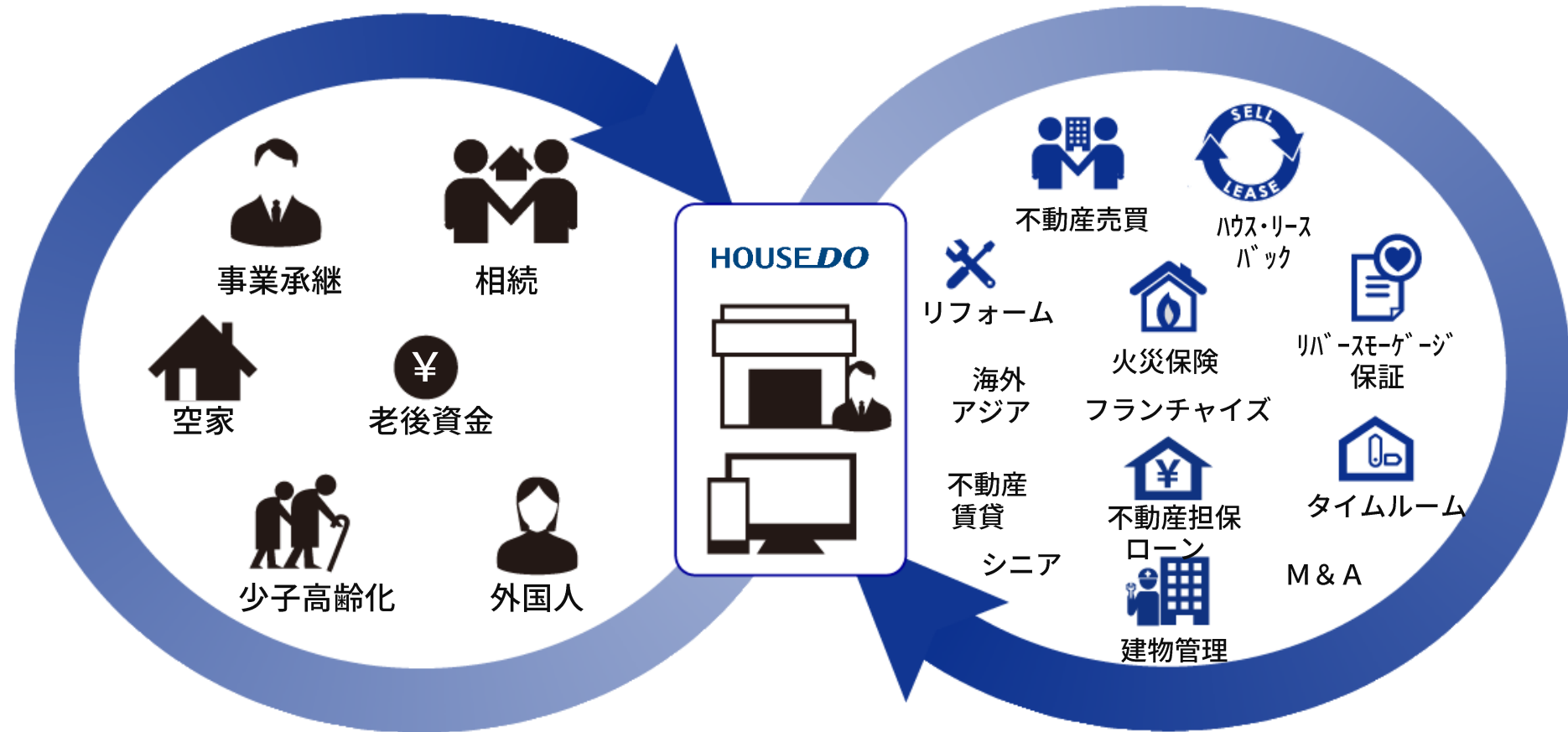
	売上高	増減率	営業利益	増減率
フランチャイズ事業	3,563	+ 6.8%	2,408	+ 8.2%
ハウス・リースバック事業	17,228 ～ 15,942	+ 29.0% ～ + 19.4%	2,335 ～ 2,100	+ 41.3% ～ + 27.0%
金融事業	1,012 ～ 952	▲ 7.5% ～ ▲ 13.0%	160 ～ 100	+ 110.6% ～ + 31.4%
不動産売買事業	14,929 ～ 10,936	+ 2.1% ～ ▲ 25.2%	1,265 ～ 861	+ 16.9% ～ ▲ 20.4%
不動産流通事業	2,337	+ 1.1%	623	+ 4.6%
リフォーム事業	2,972	+ 9.4%	236	+ 37.7%
小山建設グループ	3,007	+ 40.4%	189	+ 47.9%
調整額	▲ 610	—	▲ 3,546	—
合計	44,438 ～ 39,100	+ 13.8% ～ + 0.2%	3,673 ～ 2,973	+ 41.9% ～ + 14.8%

中期経営計画（～2022年6月期）

- 基本方針（成長強化学業への積極投資継続による収益拡大）に変更無し
- コロナ禍の各事業への影響の余波や外部環境の変化、強固な基盤を確立するための先行投資等を勘案し、最終年度の計画を修正 ※2021年2月10日開示



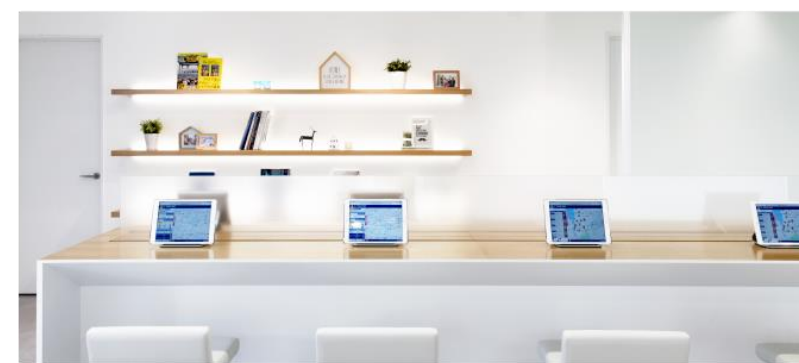
さまざまな社会問題解決をサービス化



ビジネスチャンスに

地域密着の店舗ネットワークとデジタルテクノロジーの融合

リアル店舗で住まいに関するサービスをワンストップでスマートに提供



不動産サービスのオンライン化

デジタルデバイスを活用し、お客様にとって安心・便利なサービスを創出

オンライン内覧



無人オープンハウス



VR 内見



スマホでくらす家 SMART DO HOME



家事もセキュリティも、
スマホで簡単操作

- 照明 ON/OFF
- テレビ ON/OFF
- 屋外カメラ
- 宅配ボックス
- 侵入感知
- エアコン ON/OFF
- 施錠確認
- お湯はり
- 見守りカメラ

2021年5月29日 モデルハウス第1号OPEN

ライフスタイルに合わせてカスタマイズ



カーテンやシャッターもアプリ・音声で開閉をコントロール



多彩なエンターテインメント



タッチディスプレイで
スマートホーム機器を集中管理



人感センサーでエアコンやテレビの
ON/OFFも可能



全方面にカメラ設置で
セキュリティ万全

不動産に関わる様々な資金調達ニーズに対応



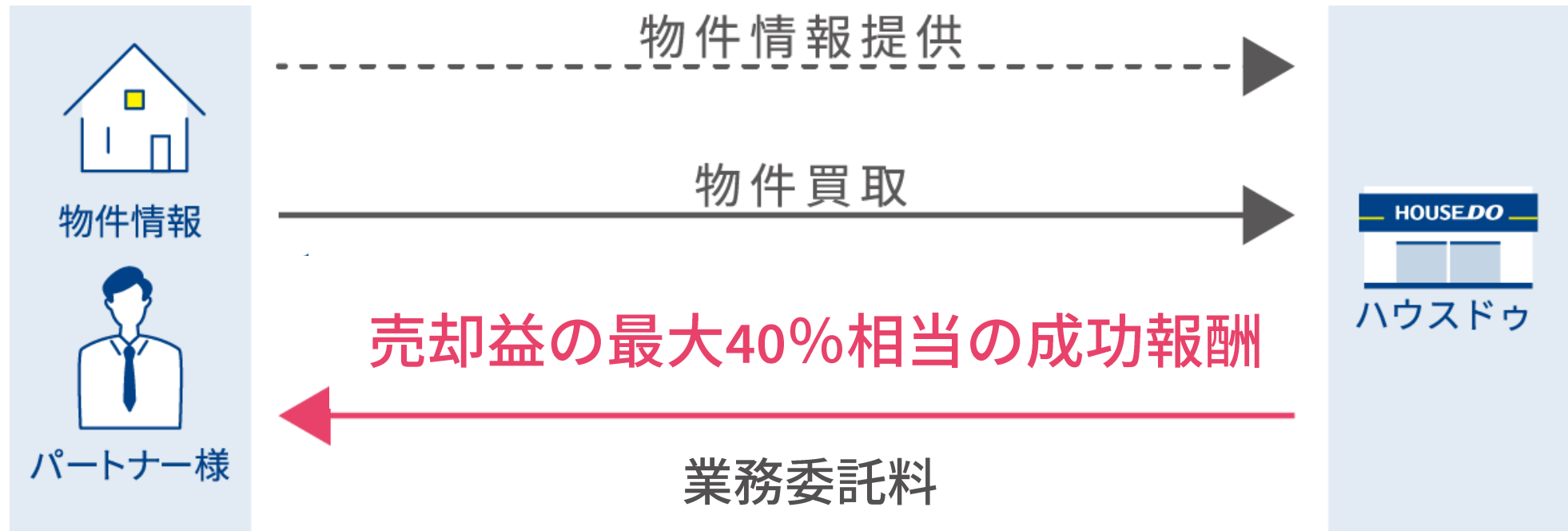
パートナー

ハウズドゥ

情報提供

+

資金



優良な物件情報を活かし、利益を最大化

AIを利用したオンライン

エンドユーザー



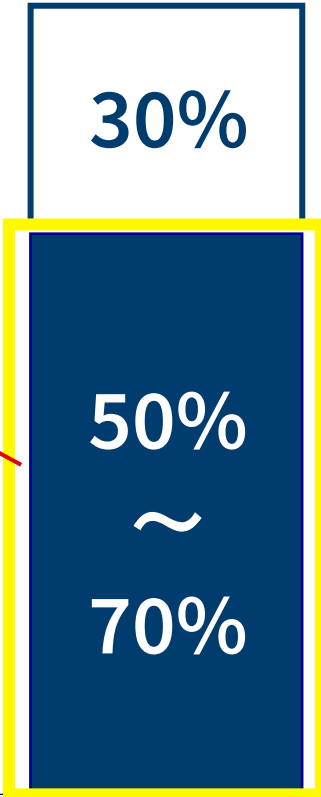
スマホアプリ
「DO BANK」

融資
返済

ハウスク
設定枠
(融資可能額)

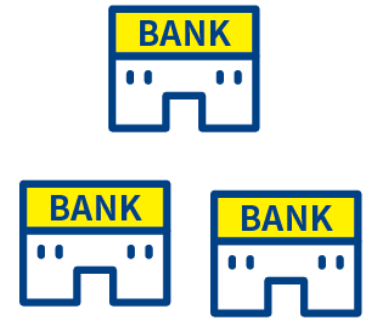


物件査定額



C
ランク
B
ランク
A
ランク

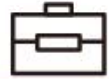
銀行



一般投資家

ハウスの強みを最大限に活かし、業界改革

地域密着の



販売力



査定力



信用力



全国対応



賃貸ビジネス構想



高齢者ビジネス構想



不動産信託構想

アジアの「不動産サービスメーカー」へ

不動産の活用 = 不動産の流動化

高齢化・貸金業者激減・資金供給不足

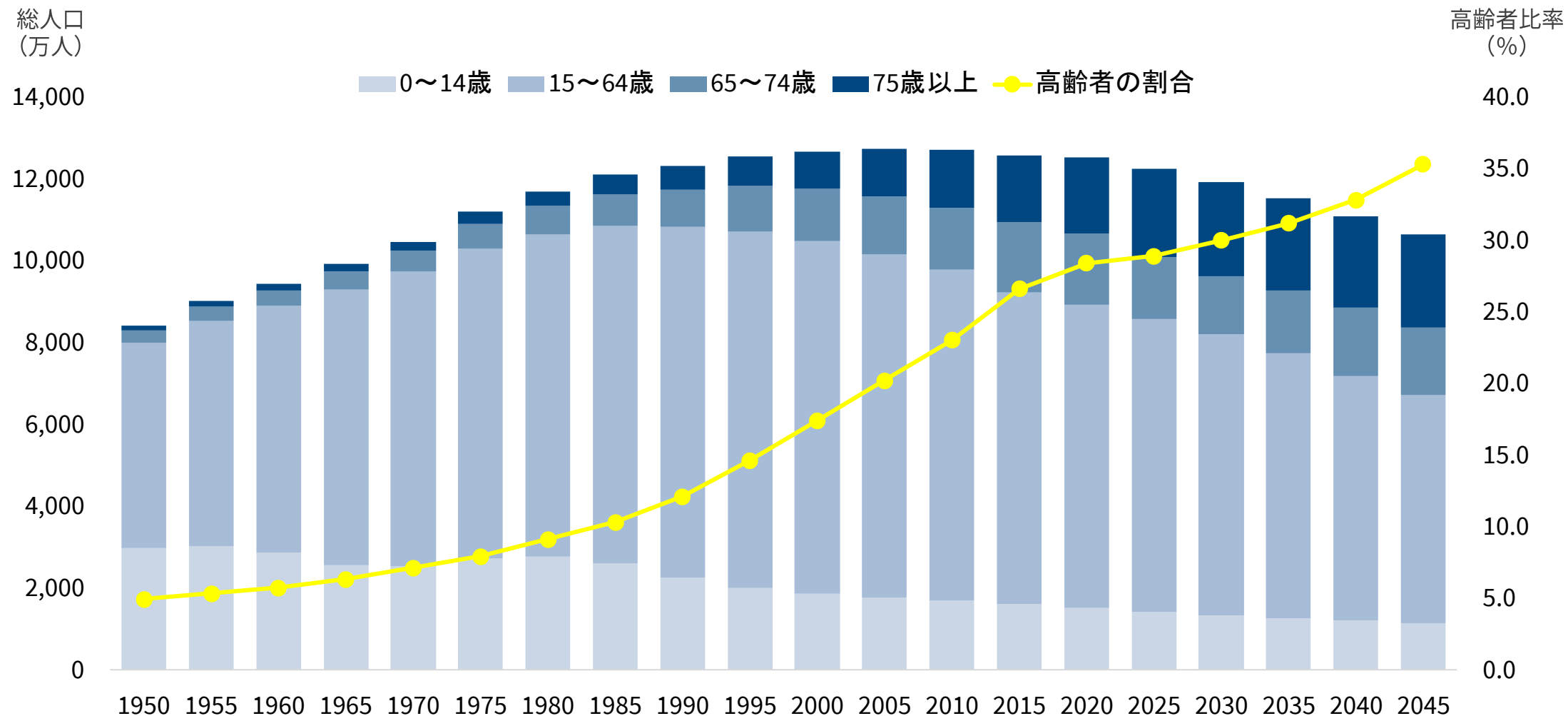
資産を活かし ⇒ 資金を供給

日本経済活性化

1. 会社概要
2. 2021年6月期 連結決算概要
3. 2021年6月期 セグメント別決算概要
4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画
5. 【参考資料】外部環境

【参考資料①】 将来推計人口推移

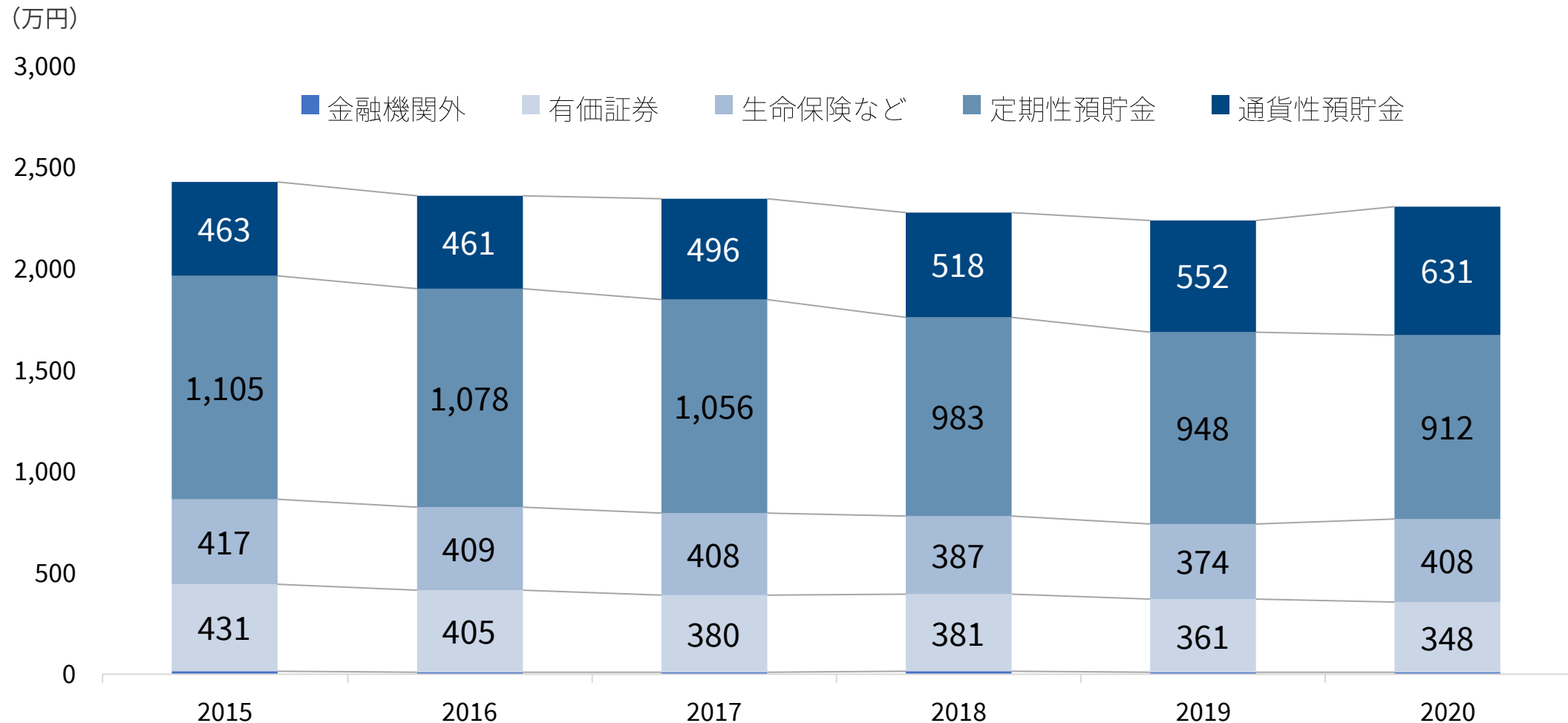
■ 総人口はピークアウトする一方、高齢者市場は拡大 → 不動産は「活用・処分」がテーマへ



出所：2015年までは総務省「国勢調査」、2020年は総務省「人口推計」（令和2年10月1日確定値）、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果より作成

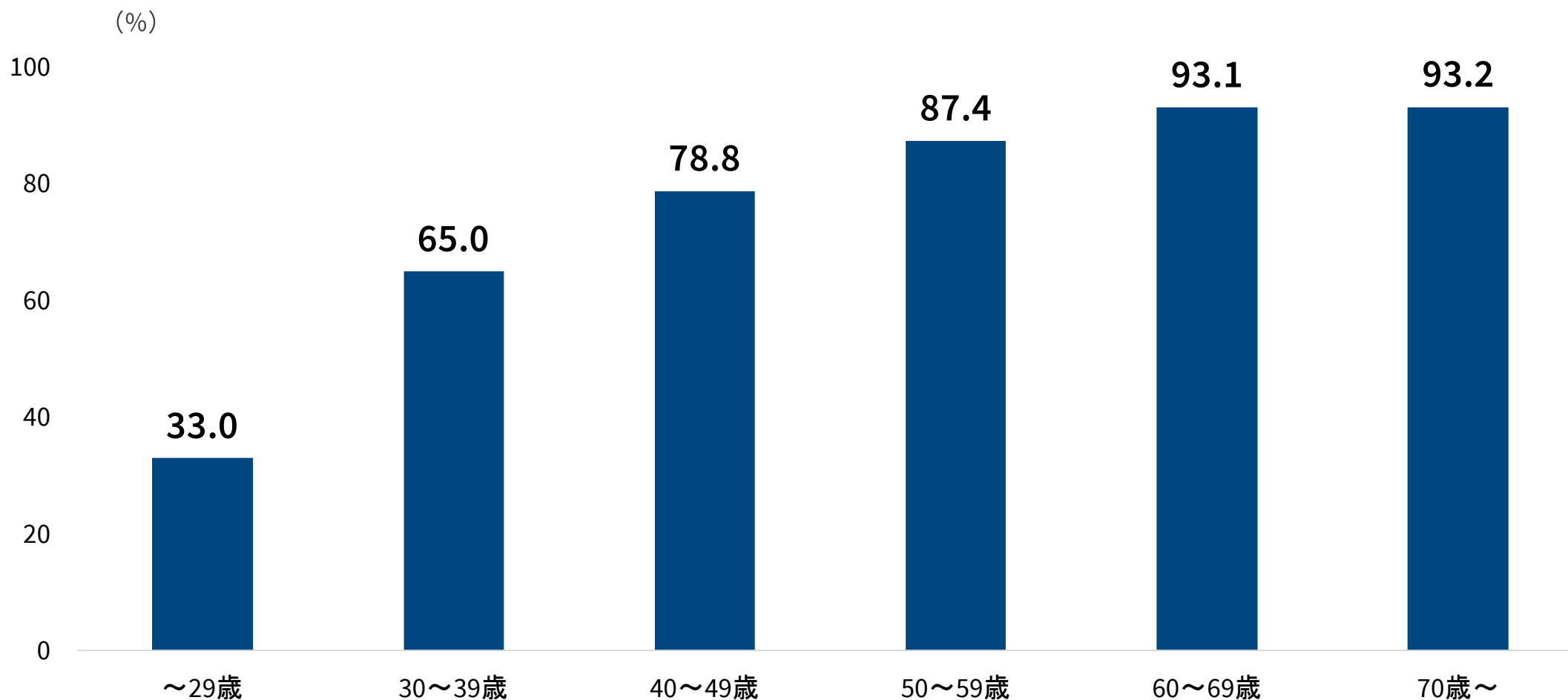
【参考資料②】 高齢無職世帯（二人以上の世帯）の種類別貯蓄現在高推移

■足元は消費低迷により増加しているものの、高齢者市場の貯蓄高は減少傾向



出所：総務省統計局 家計調査（貯蓄・負債編）より作成

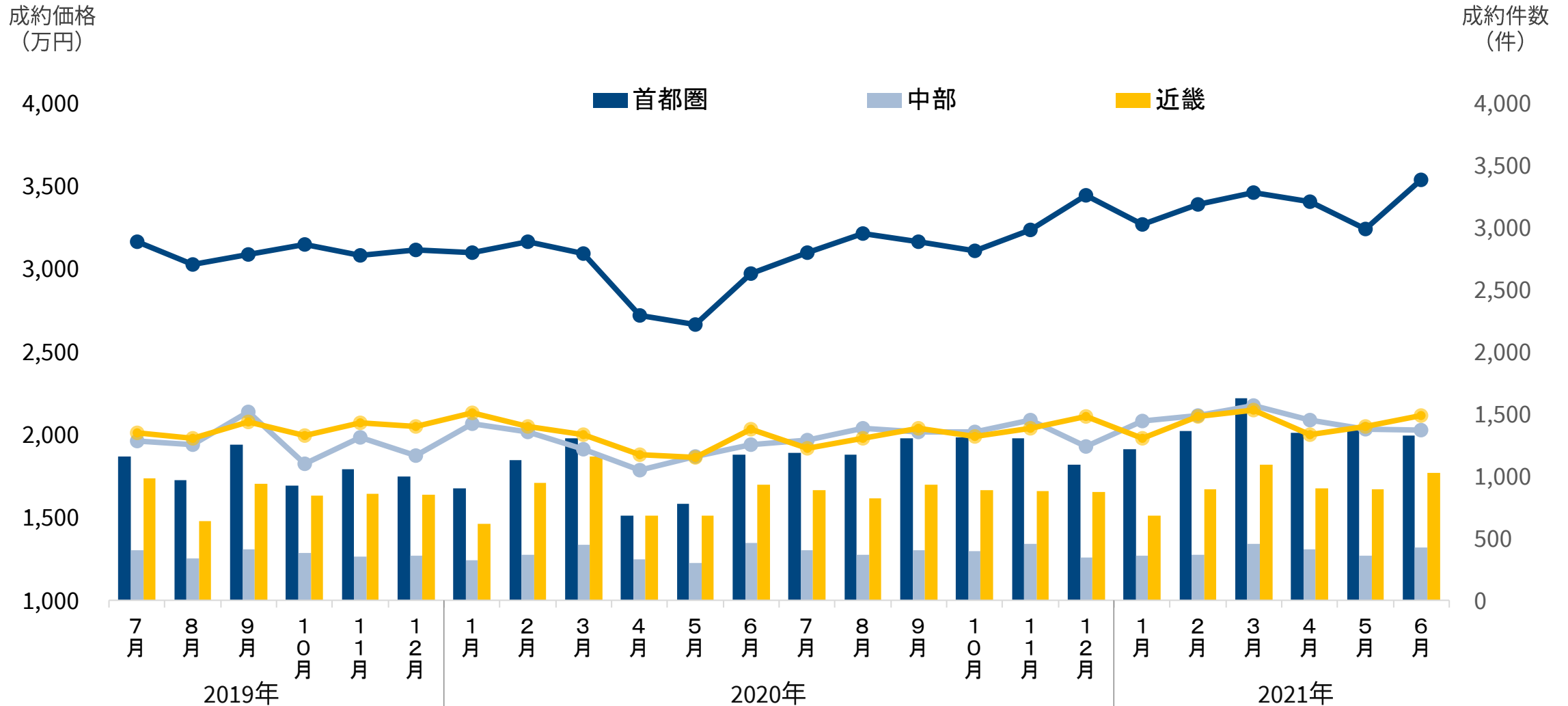
■ 高齢者の持家比率は高水準 → 不動産は「保有」から「活用」する資産へ



出所：総務省統計局 家計調査（貯蓄・負債編） 2021年5月18日発表分より作成

【参考資料④】 中古戸建成約件数・価格推移

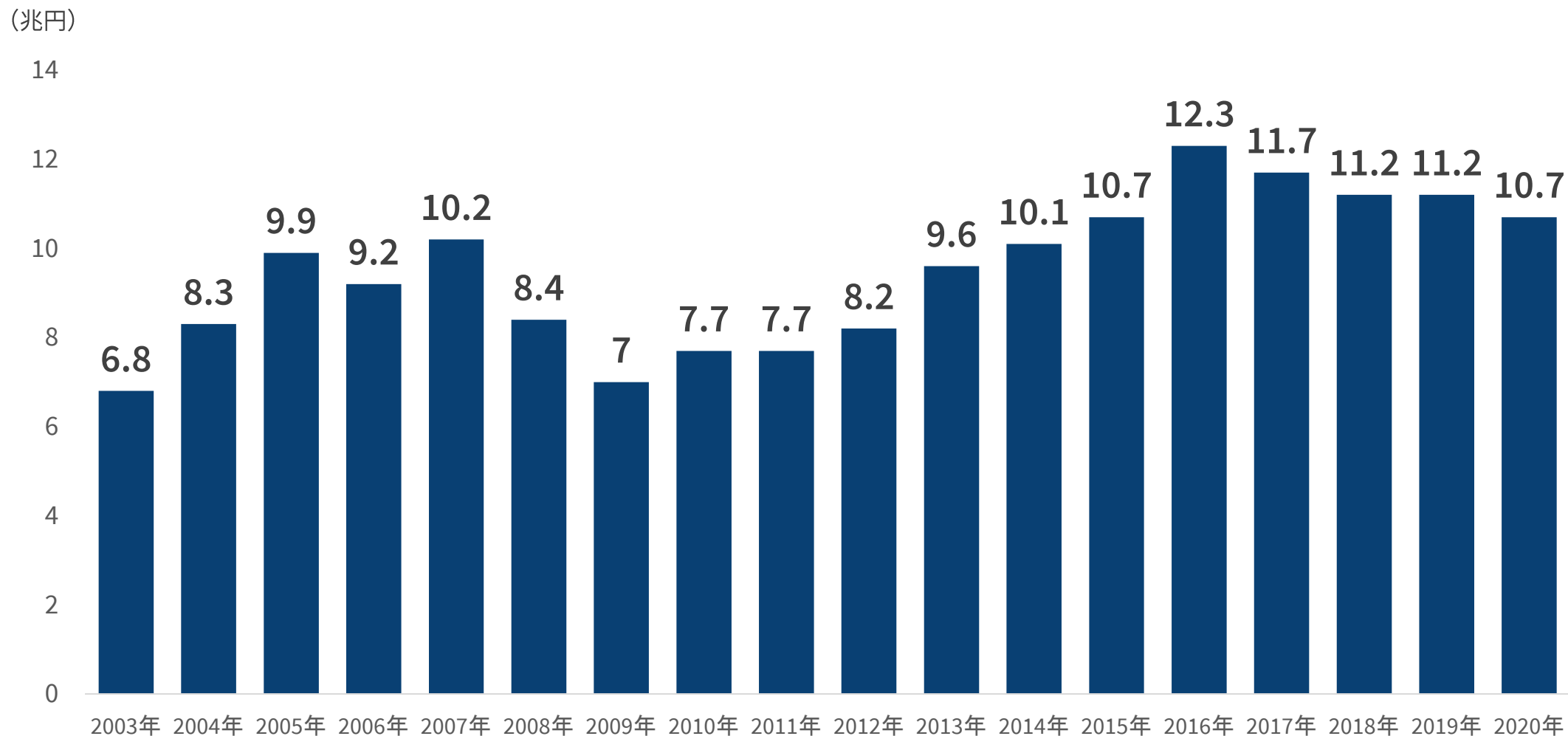
■新型コロナウイルス感染症拡大初期に価格・件数は下落するも、一時的な影響



出所：公益財団法人 東日本不動産流通機構、公益社団法人中部圏不動産流通機構、公益社団法人近畿圏不動産流通機構 各市場動向レポートより作成

【参考資料⑤】 不動産業者向け新規貸出額推移

■ 不動産業者向け新規貸し出しは減少傾向 → 不動産仕入資金（買取パートナー）需要拡大



出所：日本銀行「貸出先別貸出金」より作成

業界を変える！

— お客様のための業界へ —

国内**1,000**店 アジア**50,000**店へ！

住まいのすべてを、スマートに。

HOUSEDO

—将来見通しに関する注意事項—

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社グループは、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

※前々期以前のセグメント別データにつきましては、セグメント区分見直し前のデータが含まれております。ご注意ください。

■IR情報 <https://www.housedo.co.jp/ir/>

■IRに関するお問い合わせ Email：housedo-ir@housedo.co.jp TEL：03-5220-7230